

志摩市スポーツ施設整備基本計画

令和4年3月

志摩市教育委員会

目次

1. 計画策定にあたって	1
(1) 目的と位置づけ	1
(2) 現状と課題	2
(3) 計画期間	2
2. 本計画の対象とする施設	3
(1) 屋内施設	3
(2) 屋外施設（夜間照明等）	4
3. 現状・課題の分析	7
(1) 施設種類別にみた現状と課題	7
(2) スポーツ施設の総量でみた現状と課題	9
(3) 各施設の評価判定の実施	10
4. 基本方針	13
(1) 施設の分類と役割等	13
(2) 施設の利活用・整備	14
5. 基本的方向性	15
(1) 施設整備基本方針	15
(2) 利活用方針	16
(3) 管理運営方針	16
6. 施設ごとの整備・活用方針	17
(1) 体育館	17
(2) プール	22
(3) 屋外スポーツ施設（グラウンド・夜間照明等）	24
(4) テニスコート	28
(5) 武道場	30
7. SDGs の目標達成に向けた取組の推進	31
資料編	32

1. 計画策定にあたって

(1) 目的と位置づけ

近年の社会環境は、少子高齢化や、高度情報化、価値観の多様化などにより大きく変化し、人々の意識は、物質的な豊かさから心の豊かさや安らぎのある生活を求めるようになってきました。

また、日常生活においても、体力の低下や、子どものスポーツ離れ、余暇活動の多様化、人間関係の希薄化、ストレスの増大等、心身両面にわたる健康上の諸問題が顕在化してきています。

このような変化の中で、スポーツの目的は、健康づくりの有効手段や、人との連帯感の育成、さらには精神的なストレスの発散など多様化し、人々の生活においてスポーツ活動は、今後ますます重要な働きを持つものとなってきています。

国は、平成24年3月に、スポーツ基本法第9条に基づく「スポーツ基本計画」を策定し、その後、平成29年4月には、スポーツ推進に向けて今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策を体系化するとして「第2期スポーツ基本計画（平成29年度～平成33年度）」を策定しました。また、「スポーツ基本計画」では、「住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備」を掲げ、その中で、「住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するため、（中略）スポーツ施設の充実等を図る。」としています。

本市では、平成21年3月、基本理念に「だれもがいつでも気軽に楽しめるスポーツ振興」を掲げた「志摩市スポーツ振興計画」を策定し、市民の一人ひとりが自発的、意欲的に地域でスポーツ活動を行い、だれもがいつでも気軽にスポーツに親しめる場づくりを進めています。平成28年3月には、振興計画の中間見直しによる改訂を行い、「志摩市スポーツ推進計画」（以下「スポーツ推進計画」という。）を策定し、新たな計画に基づきスポーツの推進に努めています。

本市のスポーツ施設は、合併前の施設を引き継いでいることから、小規模な施設を数多く所有しており、規模や環境に応じた位置づけを行い、整備や利用の促進を図っていくことが必要です。その方向性を示すものとして、「総合的なスポーツ施設の整備」や「既存のスポーツ施設の機能拡充及び機能集約」などについて、この度「志摩市スポーツ施設整備基本計画」（以下「本計画」という。）を策定することになりました。

本計画は、スポーツ推進計画の趣旨に基づき、また、本市の「第2次総合計画後期基本計画（令和3年3月策定）」及び国の具体的施策との整合性を図りながら、本市の実情に即したものとして、加えて、本市におけるスポーツを取り巻く様々な状況の変化を踏まえた上で策定されたものであり、スポーツ施設全体を対象にした整備に係る基本的な計画と、基幹スポーツ施設の整備・充実及び総合的なスポーツ施設の整備に関する基本的な考え方を示すものです。

なお、策定にあたっては、市内全てのスポーツ施設の状況や利用実態等の調査のほか、「志摩市の運動・スポーツ実施状況とスポーツ施設に関するアンケート（令和3年実施）」を実施しました。

（２）現状と課題

① 同種・小規模施設の点在

合併以前に整備された同種の小規模なスポーツ施設が点在しています。県内の他市町と比較して多くの施設を管理・運営しているため、財政負担の軽減や効率的な運営が求められています。

② 施設の老朽化

建設後、30年以上経過した施設が多く、修繕・維持管理に相当額の予算を要しています。また、バリアフリー対応や長期安定的に使用できるLED照明への改修等が必要な施設もあります。今後も継続して安全・安心に施設を利用していくために計画的に対応していく必要があります。

③ 利用の少ない施設の管理

少子高齢化の影響などから、利用者数が減少傾向にある施設があります。それらの施設は維持管理費に見合う収入の確保が難しく、効率的な施設の稼働や使用料の見直しが必要となっています。

④ 市民ニーズの多様化

従来の種目にとらわれず、レクリエーションスポーツを中心に新たなスポーツ需要に対応し、スポーツ人口の増大を図る必要があります。また、健康づくりの観点等からもスポーツ施設の利活用を促進するために市民の声を定期的に聞く機会が必要です。

（３）計画期間

この計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

ただし、社会情勢の急激な変化等により改訂が必要になった時は、その期間内であっても見直しを行うものとします。

2. 本計画の対象とする施設

本市の施設のうち、スポーツが実施できる下記のものを対象とします（教育委員会以外の部署が所管しているものも含む）。

(1) 屋内施設

施設名	種類・機能
浜島 B&G 海洋センター	アリーナ・武道場・プール・ミーティングルーム
志摩 B&G 海洋センター	アリーナ・武道場・プール・ミーティングルーム
磯部ふれあい公園	アリーナ・ミーティングルーム・トレーニングルーム
磯部プール	プール
大王柔剣道場	道場
大王相撲場	相撲場
迫塩社会体育館	屋内運動場
船越社会体育館	屋内運動場
片田社会体育館	屋内運動場
甲賀社会体育館	屋内運動場
国府社会体育館	屋内運動場
成基社会体育館	屋内運動場
阿児アリーナ ※	アリーナ（オーシャンホール）
阿児健康福祉センター 「サンライフあご」 ※	プール（1階 阿児健康増進センター内プール） （以下「サンライフあごプール」という）
ともやま公園 ※	多目的屋内運動場

※教育委員会が社会体育以外で管理している施設、または教育委員会以外の部署が所管している施設

<学校開放施設は対象外>

施設名	種類・機能
浜島小学校	屋内運動場
大王小学校	屋内運動場
志摩小学校	屋内運動場
鵜方小学校	屋内運動場
神明小学校	屋内運動場
東海小学校	屋内運動場
磯部小学校	屋内運動場
浜島中学校	屋内運動場
大王中学校	屋内運動場
志摩中学校	屋内運動場
文岡中学校	屋内運動場
東海中学校	屋内運動場
磯部中学校	屋内運動場

(2) 屋外施設（夜間照明等）

施設名	種類・機能
浜島ふるさと公園	多目的広場・テニスコート
志摩総合スポーツ公園	多目的グラウンド・テニスコート
長沢野球場	グラウンド（夜間照明）
長沢多目的広場	グラウンド
賢島スポーツガーデン	テニスコート（夜間照明）
阿児ふるさと公園テニスコート	テニスコート
阿児ふるさと公園多目的広場	グラウンド（夜間照明）
国府社会体育広場	グラウンド（夜間照明）
磯部ふれあい公園	テニスコート・多目的広場
ともやま公園 ※	球場・テニスコート
志摩パークゴルフ場 ※	パークゴルフ場
阿児の松原スポーツセンター ※	更衣室・シャワー・駐車場
田神グラウンド ※	グラウンド

※教育委員会以外の部署が所管している施設

<学校開放施設は対象外>

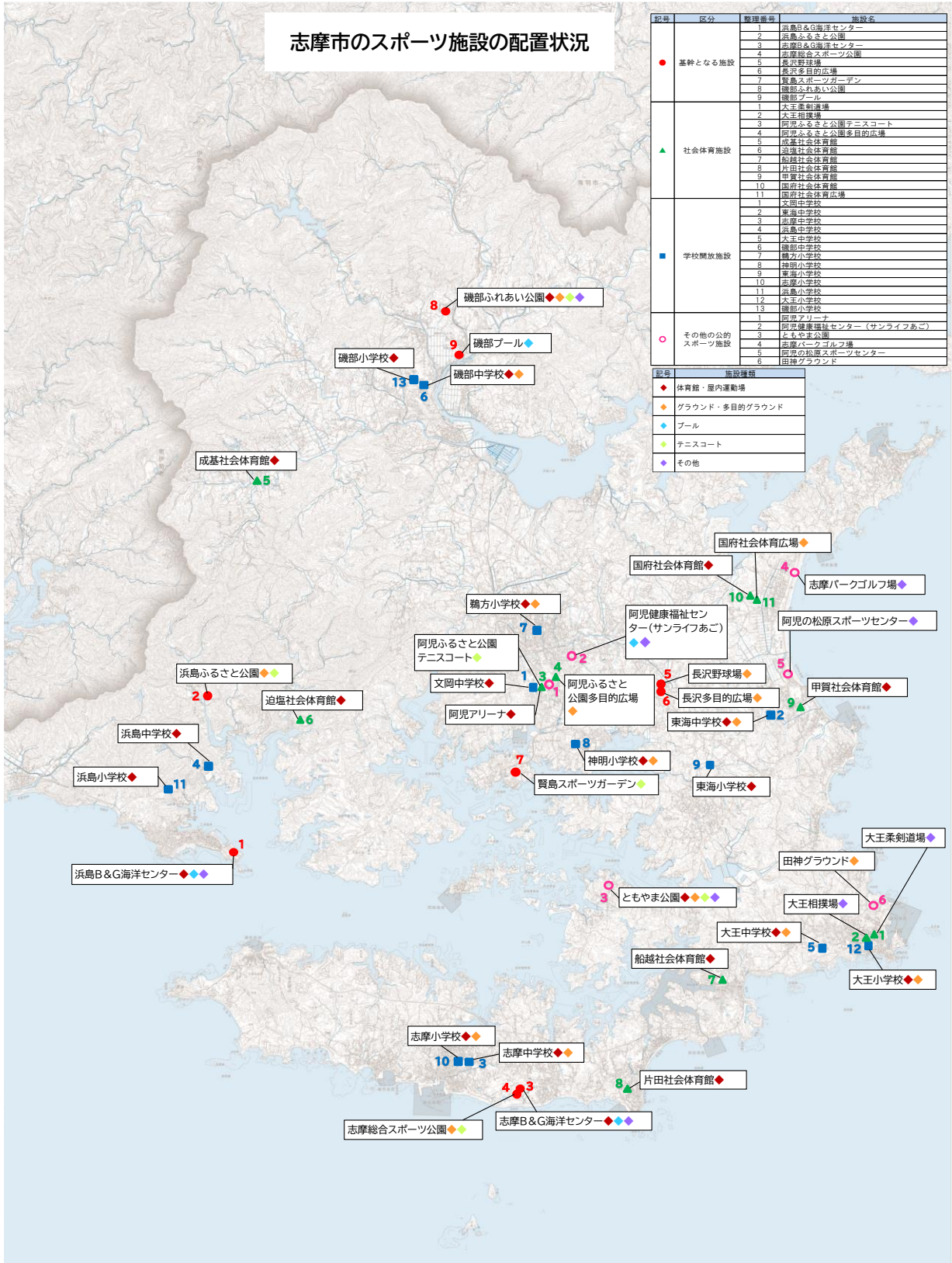
施設名	種類・機能
浜島小学校	グラウンド
大王小学校	グラウンド
志摩小学校	グラウンド
鶯方小学校	グラウンド
東海小学校	グラウンド
神明小学校	グラウンド（夜間照明）
磯部小学校	グラウンド
浜島中学校	グラウンド
大王中学校	グラウンド（夜間照明）
志摩中学校	グラウンド（夜間照明）
文岡中学校	グラウンド
東海中学校	グラウンド
東海中学校第2グラウンド	グラウンド（夜間照明）
磯部中学校	グラウンド（夜間照明）

【志摩市のスポーツが実施できる施設一覧】

区分	名称	種類						備考 (その他の内容)	
		アリーナ・ 屋内運動場等	プール	多目的 グラウンド・ (夜間照明)	テニス コート (夜間照明)	武道場等	その他		
屋内施設	浜島B&G海洋センター	●	屋内 温水				●	●	武道場 ミーティングルーム
	志摩B&G海洋センター	●	屋内				●	●	武道場 ミーティングルーム
	磯部ふれあい公園<屋内>	●						●	ミーティングルーム トレーニングルーム
	磯部プール		屋外						
	大王柔剣道場						●		
	大王相撲場						●		
	迫塩社会体育館	●							
	船越社会体育館	●							
	片田社会体育館	●							
	甲賀社会体育館	●							
	国府社会体育館	●							
	成基社会体育館	●							
	阿児アリーナ	※	●						
	阿児健康福祉センター 「サンライフあご」	※		屋内 (休止中)					●
ともやま公園<屋内>	※	●						●	トレーニングルーム
屋外施設	浜島ふるさと公園			●		2面			
	志摩総合スポーツ公園			●		5面			
	長沢野球場			●	*				
	長沢多目的広場			●					
	賢島スポーツガーデン					7面	*		
	阿児ふるさと公園テニスコート					5面			
	阿児ふるさと公園多目的広場			●	*				
	国府社会体育広場			●	*				
	磯部ふれあい公園<屋外>			●	*	4面			
	ともやま公園<屋外>	※		●	*	4面			
	志摩パークゴルフ場	※		パーク ゴルフ場					
	阿児の松原スポーツセンター	※						●	更衣室・シャワー・駐車場
田神グラウンド	※		●						

※は、教育委員会が「社会体育」の区分以外で管理している施設、または教育委員会以外の部署が所管している施設

志摩市のスポーツ施設の配置状況



3. 現状・課題の分析

(1) 施設種類別にみた現状と課題

① 体育館

【現状と課題】

- ・ 各地域に配置されていますが、多くは本市の中央部である阿児地域にあります。
- ・ 大規模な大会に対応できる施設が限られています。例えば、多くの体育館がバスケットボールコートを提供できますが、公式ルールによるバスケットボールコートとする場合は、提供できる施設は限られます。また、観客席がある体育館として、磯部ふれあい公園体育館、阿児アリーナなどがありますが、大規模な大会では、多くの観客席を確保する必要があることから利用場所が限られています。
- ・ 社会体育館は、閉校後の体育館を社会体育館へ用途変更していることから、アリーナスペースのみの提供だけとなっており、多くの市民が訪れる場となっていないのが現状です。
- ・ 阿児地域に位置するアクセスの良い体育館や競技スペースの広い施設は、休日の大会・イベント等での利用頻度が高く、利用がひっ迫しています。一方で、中央部から離れた施設では、平日の利用が少ない状況にあります。
- ・ 建設後30年を経過している体育館が4つあり、また全体的に老朽化が進んでおり、毎年のように修繕が必要となる施設があります。
- ・ エントランスに段差があるほか、廊下に手摺がない、トイレが狭く段差があるなどのバリアフリーへの対応が遅れている施設があります。

② プール

【現状と課題】

- ・ 屋内プールが3つと屋外プールが1つの計4つのプールがあります。そのうち、2つはB&G財団から無償譲渡された施設で、現在も海洋センターとして利用しています。
- ・ すべての施設において、経年劣化が著しく、開館や安全に影響するような故障や修繕が発生しており、今後の安定的な開館が懸念されます。
- ・ 大会での利用ができる観客席のある50mプールはなく、すべてのプールが25mのみです。6コース（サンライフあごプールのみ5コース）ありますが、水深110～130cmと浅く、条件を把握したうえでの大会開催は可能ですが、公式大会の開催は困難です。
- ・ 浜島B&G海洋センターのプールは、屋内であり、温水のためメンテナンス期間（1～3月）以外は通年利用できますが、ソーラーシステム等、建設当初の設備が多く、改修が必要です。
- ・ 志摩B&G海洋センターのプールは、7・8月のみテントを張って使用していますが、テント部分の柱が腐食しており、また、建設から年数が経過した設備のた

め、改修が必要な状況です。

- ・ 磯部プールは、7・8月のみ屋外プールとして使用していますが、外から全体が見えるため、目隠し等の設置検討が必要です。
- ・ サンライフあごプールは、建設から24年が経過して劣化が進んでおり、各種設備の故障・損傷も多く、安全性が担保できないことから令和3年11月から閉館しています。

③屋外スポーツ施設（グラウンド・夜間照明等）

【現状と課題】

- ・ 野球場は硬式野球の利用ができない施設であり、浜島ふるさと公園や磯部ふれあい公園等は多目的グラウンドとして位置づけられています。
- ・ 長沢野球場、長沢多目的広場は「三重とこわか国体」・「三重とこわか大会」のソフトボール会場として整備しましたが、駐車場不足や近隣の道幅が狭いため、大型バスの乗り入れが難しく、今後の利活用が課題です。
- ・ 多目的グラウンド・多目的広場は、施設の利用可能種目の設定が明確になっていないため、野球・ソフトボール以外での利用は特定団体に限られています。
- ・ 本市にはサッカー場が無く、クレイ（土）のグラウンドのみとなっています。施設規模上の制約から公式戦は少年サッカーでの利用に限られています。本市には、公式のサッカーコートが確保できるグラウンドが少ないため、中学生以上の試合は、近隣自治体の施設を利用しています。
- ・ 市内の夜間照明は、長沢野球場のみLED化しており、それ以外は全て水銀灯です。水銀灯は既に生産がされておらず、店舗販売されている在庫のみのため、今後の交換対応が難しい状況です。
- ・ 本市には、全天候型グラウンドが無いことを踏まえ、人工芝グラウンドの整備については、補助金等の有効活用をはじめ、施設の利用状況や立地条件等を考慮して検討していきます。

④テニスコート

【現状と課題】

- ・ テニスコートは6施設あります。オムニコート（人工芝）とハードコート、クレイ（土）コートがあり、利用は日中が多くなっています。
- ・ 夜間照明は建設当初からの照明器具のため、劣化により利用ができない箇所が多くなっています。

⑤武道場

【現状と課題】

- ・ 大王柔剣道場は、スポーツ施設としては地域の限定的な利用者が使用しています。
- ・ 大王相撲場は、スポーツ施設としては年1回程度、地元催事で使用されるのみとなっています。

(2) スポーツ施設の総量でみた現状と課題

本市のスポーツ施設の総量に係る現状・課題には下記の事項があげられます。なお、ここでは、他団体と比較しやすいように、①屋内スポーツ施設（体育館・プール）、②屋外スポーツ施設（陸上競技場・野球場・テニスコート）の5分類で掲載しています。

① 屋内スポーツ施設

■体育館

設置状況を県内他市町と比較すると、小規模な施設が多い。「人口が同規模の自治体」（資料編「3. 他市町との比較」において黄色で表示している市町、以下「同規模自治体」という。）に限ると、施設数は3倍となっています。これは、本市の地形上の特性から比較的小規模な小中学校が点在していたこと、また現在も廃校となった学校の体育館を社会体育館として活用していることによるものです。延べ面積を同規模自治体と同水準にするのであれば、2～3割程度の削減が必要となります。

■プール

設置状況を県内他市町と比較すると、1施設当たりの水面面積は概ね同程度となっています。施設数は県内29市町で4番目に多く、同規模自治体のいずれよりも多くなっています。プールは財政負担等が大きいことから、屋内・屋外の違いや、利用者の主な利用目的等を考慮したうえで、あり方、配置を検討する必要があります。また、県内他市町には民間施設も多数存在することから本市においても民間活力の活用推進についても検討する必要があります。

② 屋外スポーツ施設

■陸上競技場

陸上競技場を保有していない自治体があるなか、敷地面積において県内で上位の広さの施設を保有しています。陸上競技場は多様な用途に使用することができ、また、市が保有しているのは1施設のみであることから、削減の必要性は高くないと考えられます。

■野球場

施設数、敷地面積ともに、同規模自治体と同程度となっています。総じて削減の必要性は高くないと考えられますが、野球場に類似する施設（グラウンド・広場）の施設数や機能を考慮して検討する必要があります。

■テニスコート

同規模自治体と比較して施設数、面数ともに多くなっています。1施設あたりの面数が少ない施設は大会等の会場となりにくいため、集約化を進める際には規模の大きな施設の供用を継続する方向での検討が必要となります。また、劣化状況、地盤・水はけの状況など、現状を踏まえて検討する必要もあります。

(3) 各施設の評価判定の実施

「市の核となる施設」は、多様な種目に使用されるほか、市民大会に使用されたり、スポーツ合宿誘致等に活用できたりと、その果たす役割は、市民対象に限らずに観光振興に寄与するなど幅広く、また、本市への経済効果も大きいといえます。

一方、「日常的なスポーツ活動の場となる施設」は、市民の継続的・定期的な利用が中心となります。

このように、施設の性格が異なることから、「市の核となる施設」と「日常的なスポーツ活動の場となる施設」について、それぞれ次の基準により評価判定します。

① 安全性（老朽化度）の評価

■施設（建物）

施設（建物）の安全性については、下記の基準により5段階で評価します。

【施設（建物）の安全性の評価基準】

A	ほぼ健全な状態である
B 1	部分的に劣化が進んでおり、放置すると機能が低下する可能性がある
B 2	広範囲に劣化が進んでおり、修繕、改修工事が必要な状態にある
C	劣化が相当程度進んでおり、早期に修繕、改修工事が必要な状態にある
D	個別点検により、安全な施設使用が見込めない状態にある

■グラウンド・テニスコート

施設（建物）が無いグラウンドやテニスコートについては、目視により、下記の基準により4段階で評価します。

【グラウンド・テニスコート安全性の評価基準】

A	ほぼ健全な状態である
B	多少の不陸(凸凹)が確認できるが、使用にあたって安全性に支障がない
C	不陸(凸凹)が多く(大きく)改修・整備が必要な状態である
D	危険性が認められ、安全・安心に利用できない状態と判断されたもの

② 利用状況の評価

施設の利用者数及びアンケート調査結果により施設のニーズを把握したうえで、下記の基準により3段階で評価します。

【利用状況の評価基準】

(年間利用人数)

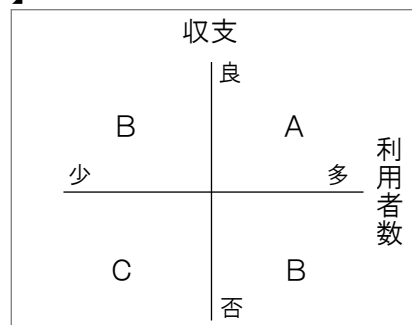
	核になる施設	日常的なスポーツ活動の場
A	10,000人以上	5,000人以上
B	5,000人以上	3,000人以上
C	5,000人未満	3,000人未満

③ 費用対効果（利用者数と収支のバランス）の評価

施設ごとに利用者数と収支の関係性を見える化したうえで、下記の基準により3段階で評価します。

【費用対効果の評価基準】

A	利用者が多く、収支バランスが良い
B	利用者は少ないが、収支バランスが良い 利用者は多いが、収支バランスが悪い
C	利用者が少なく、収支バランスが悪い



*利用者数・収支の判定基準

項目	判定基準
利用者数	「②利用状況の評価」の基準を用いて判定
収支	下記の基準により算出した額がプラスの場合・・・「良」 <市の核となる施設> 1) 収入額と、2) 支出額から人件費相当分として、「1,000万円」又は「指定管理料」のいずれか低い額を減じた額との差額 <日常的なスポーツ活動の場となる施設> 1) 収入額と、2) 支出額から市の応分の負担額（光熱水費相当分として60万円）を減じた額との差額

上記の3つの評価結果をもとにした総合的判断によって下記の4つの区分で「整備の基本的な方針」を定め、今後の維持修繕・改修に反映させます。

なお、各施設の評価結果は、「6. 施設ごとの整備・活用方針」に掲載しています。

【判定内容と整備の基本的な方針】

判定	方針
改 修	老朽化等による機能不足の解消、新たなニーズへの対応等、施設のリニューアルを図ります。
維持修繕 (現状機能の維持)	維持修繕等を行いながら、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。
用途変更	スポーツ施設としての用途を廃止して、別の用途に変更し活用します。または、活用を希望する団体等へ管理を移管し、施設の有効活用に努めます。
用途廃止	用途変更を検討したのち、その可能性がない場合は用途廃止とします。

4. 基本方針

(1) 施設の分類と役割等

各施設別の整備に係る基本的な計画の検討にあたっては、まず、「継続して使用する施設」と、「用途変更・用途廃止を検討する施設」に分類し、今後の利活用や整備方針を明確にします。

そして、「継続して使用する施設」については、「市の核となる施設」と「日常的なスポーツ活動の場となる施設」に区分し、役割分担を図ります。

区 分		基 準	対 応
継続して使用する施設	市の核となる施設 (地域の拠点)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 複合的な施設 ➤ 市民大会が開催可能な規模の施設 ➤ スポーツ合宿の誘致が可能な施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な種目の展開 ・ 施設特性の最大化 ・ 市民大会等の利用促進 ・ コミュニケーションの場の創出 ・ スポーツ合宿誘致
	日常的なスポーツ活動の場となる施設	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 上記、「市の核となる施設」を補完する施設（比較的小規模な施設） ➤ 維持経費が比較的安価な施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の日常的な利用促進
用途変更・用途廃止を検討する施設		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 老朽化の著しい施設 ➤ 代替施設が見込まれる施設 ➤ スポーツ施設としての機能維持が困難な施設 ➤ 利用者数の少ない施設 ➤ 稼働率の低い施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用途変更の検討 ・ スポーツ施設としての用途廃止 ・ 処分

【改修・修繕】

「市の核となる施設」を中心に改修・修繕を実施します。また、大規模な改修に合わせてバリアフリー化等を実施します。

「日常的なスポーツ活動の場となる施設」については、必要な維持修繕を的確に実施します。

【用途変更・用途廃止の検討】

施設毎に、利用者や地元自治会等、地域の方と丁寧に相談・協議のうえ、用途変更・廃止の検討を進めます。

【スポーツ活動の継続】

用途変更・用途廃止となった施設の利用者がスポーツ活動を継続できるよう配慮し、活動場所を確保するなどの支援に努めます。

(2) 施設の利活用・整備

施設それぞれの魅力・特性の最大化や、利活用の促進・効率的な運営、安全・安心な施設の提供などを通じて、市民が健康で心豊かな生活を送ることができ「だれもがいつでも気軽に楽しめるスポーツ推進」が図られるよう取り組みます。

【施設の魅力・特性の最大化】

個々の施設が有する魅力・特性を活かした施設運営を目指すとともに、利用しやすい環境整備に努め、利用者の満足度向上を図ります。

【利活用の促進・効率的な運営】

施設の稼働率の向上を図り、効率的な施設運営に努めます。

日中の稼働率が低い施設が多いことから、健康増進や介護予防などに視点をおいた事業展開を検討し、利活用の平準化と利用者の増大を図ります。

【安全・安心な施設の提供】

「継続して使用する施設」については、老朽化等に伴う施設の改修・修繕を計画的に進め、安全・安心な施設の提供に努めます。

中でも、「市の核となる施設」は、早期対応を検討します。

【新しいニーズを捉えた施設整備】

新たに求められているスポーツ種目や社会的ニーズを定期的なアンケート調査等での確に把握し、時代に即した施設整備に努めます。

5. 基本的方向性

本市のスポーツ施設については、市町村合併により同種で小規模な多くの施設を有することとなりました。また、スポーツ施設は身近な地域のコミュニティ施設として多くの市民に利用されていますが、人口減少を主要因とする利用者の減少や稼働率の低下及び施設の老朽化など、現状の施設は多くの課題を有しています。

一方、アンケートにおいては、市民等はスポーツ施設を健康・体力づくりや運動不足解消、スポーツの練習で利用することが多く、また、友人等との交流のために個人やクラブ・サークルなどで気軽にスポーツを楽しみたいと考える傾向が強いことが分かりましたが、現在の施設環境やソフト事業等は充分といえない状況です。

これらの問題点・課題の解決に取り組むと同時に、効率的な管理運営を通じて財政負担の軽減等を図るために、各施設の位置づけや役割を明確にした上で重点的な整備を図ります。加えて、多くの市民がそれぞれの利用目的に応じて、気軽に施設を利用できるように、また、市民交流や地域活性化、大会・イベント等を通じた市民の一体感の醸成等につながるよう、施設の利用促進を図ります。

このため、以下の3つの基本方針を示し、施設の整備充実を図ることで、健康で豊かな生活を送れるスポーツ社会の実現を目指します。

(1) 施設整備基本方針

① 「日常的なスポーツ活動の場となる施設」の整備、利用促進

地域の体育館といった小規模な施設は、市民が日常的な活動の場として利用できるように、年度ごとに適正な修繕予算を確保し、安全かつ快適な施設環境が提供できるよう維持管理、利用促進に努めます。

② 大会や合宿等を想定した「市の核となる施設」の整備・充実

施設規模や交通利便性等を有する施設は、「基幹施設」と位置づけ、市レベルだけでなく、県レベルなど広域の大会やスポーツ合宿の利用を想定した施設として、機能の集中化や充実を図ります。

③ 老朽化施設の機能集約・用途変更等

修繕を実施しても施設の安全性が確保できない施設や、極めて利用の少ない施設については、必要最小限の維持管理を行いながら、機能集約や統廃合、用途変更などについて検討します。

(2) 利活用方針

① 個人や少人数利用の促進

体育館の一般開放枠の拡大など、団体使用だけでなく個人や少人数による利用の拡大・促進を図ります。

② 利用の少ない時間帯の利用促進

平日の利用の少ない施設などにおいては、高齢者や女性のための運動教室を開催するなど、ソフト事業の実施による新たな利用者の拡大・促進を図ります。

③ 申請手続の利便性向上

インターネットの活用などにより、施設の空き状況の確認や施設予約等の利用申請手続の簡素化を図ることで、利用者の利便性向上を検討します。

④ 健康増進、体力づくりへの対応

市民ニーズの高い健康増進や体力づくりについては、トレーニング施設の充実や夜間の利用の拡大など施設の付加価値・利便性を高め、新規利用者の増加や運動・スポーツの利用機会の拡大・促進を図ります。

⑤ スポーツ合宿の誘致

「市の核となる施設」においては、スポーツツーリズムを推進します。市内宿泊事業者や観光協会、スポーツコミッションと連携して、スポーツ合宿の誘致に努めます。

(3) 管理運営方針

① 使用料等の見直し

施設の規模や機能、立地環境等実態に応じた適正な使用料や利用時間等の使用区分の見直しを検討します。

② 管理方法の見直し

利用の少ない施設については、管理人を置かずに管理運営を行うなど、施設の規模や機能、利用状況に応じた管理方法を検討します。

利用者が特定の団体に限定される施設については、地域や利用者団体による管理を含めて、利用者が気軽に利用でき、管理コストの削減につながる方策を検討します。

維持管理費に対して使用料収入が極端に少ない施設や市民ニーズに対応していない施設については、施設の在り方を検討します。

③ 指定管理者制度の導入

施設の管理運営については、利用者ニーズを優先しつつ、費用対効果を高めていく必要があることから、指定管理者制度の導入による民間事業者の経営ノウハウやスキルの活用を検討します。

6. 施設ごとの整備・活用方針

(1) 体育館

【現状と課題】

「3. 現状・課題の分析」(P7) に記載の通りです。

【各施設の利用状況と整備・活用方針】

施設名	施設の位置づけ 評 価	評価判定	利用状況と整備・活用方針
浜島 B&G 海洋センター アリーナ 1,370.29 m ² 平成 3 年 4 月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性 : C 利 用 状 況 : B 費 用 対 効 果 : B	維持修繕	年間利用者数は、平成 28 年度 6,953 人、平成 29 年度 9,288 人、平成 30 年度 12,227 人となっております。 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（以下、B&G 財団）が建設し、無償譲渡を受けた施設。 建設から年数が経過していることから老朽化が著しく修繕費が増大しています。安全性評価が「C」となっておりますが B&G 財団の助成対象施設であることを踏まえ、「市の核となる施設」として供用を継続していきます。この施設は、総合型地域スポーツクラブの拠点であり、市の基幹施設で、かつ浜島地区の数少ない施設であるので、老朽化等による機能不足の解消や地域の特性や新たなニーズへの対応等、施設のリニューアルを検討していきます。

施設名	施設の位置づけ 評価	評価判定	利用状況と整備・活用方針
志摩 B&G 海洋センター アリーナ 1,218.47 m ² 昭和 62 年 4 月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性 : B 2 利 用 状 況 : A 費 用 対 効 果 : B	維持修繕	年間利用者数は、平成 28 年度 12,298 人、平成 29 年度 11,514 人、平成 30 年度 13,662 人となっております。 B&G 財団が建設し、無償譲渡を受けた施設。建設から年数が経過していることから老朽化が著しく修繕費が増大していますが、B&G 財団の助成対象施設であることを踏まえ、また、8 年連続で優良経営の評価を受けており、さらなる追加助成の対象となる可能性がありますので、「市の核となる施設」として供用を継続していきます。また、この施設は、総合型地域スポーツクラブの拠点であり、市の基幹施設で、かつ志摩地区の数少ない施設であるので、老朽化等による機能不足の解消や地域の特性や新たなニーズへの対応等、施設のリニューアルを検討していきます。
磯部ふれあい 公園 アリーナ 2,067 m ² 平成 3 年 4 月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性 : B 2 利 用 状 況 : A 費 用 対 効 果 : B	改 修	年間利用者数は、平成 28 年度 19,433 人、平成 29 年度 21,626 人、平成 30 年度 18,124 人となっております。 「総合的なスポーツ施設」に位置づけて、幅広い世代の市民が集い、利用する施設を目指します。また、市外からの誘客を促進させるため、スポーツ合宿等を積極的に誘致します。 令和 4 年度に老朽化等による対策として、外壁の塗装や天井、アリーナ床面の張替えなど大規模改修工事を予定しています。また、トレーニングルームの拡充やバリアフリー化を行います。

施設名	施設の位置づけ 評価	評価判定	利用状況と整備・活用方針
迫塩社会 体育館 544 m ² 昭和53年3月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安 全 性：C 利 用 状 況：B 費 用 対 効 果：B	用途変更	年間利用者数は、平成28年度3,919人、平成29年度3,023人、平成30年度3,014人となっております。 令和6年度に施設の耐用年数を迎えるなど、老朽化が著しい施設です。 今後、社会体育館としての位置づけではなく、他の用途への変更について、市民ニーズ等を踏まえ検討します。
船越社会 体育館 588 m ² 昭和61年2月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安 全 性：C 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：B	用途変更	年間利用者数は、平成29年度681人、平成30年度1,229人となっております（平成28年度は船越小学校のため、利用人数は未記載）。 施設の耐用年数は令和14年度までです。 今後、社会体育館としての位置づけではなく、他の用途への変更について、市民ニーズ等を踏まえ検討します。
片田社会 体育館 764 m ² 平成23年3月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安 全 性：A 利 用 状 況：B 費 用 対 効 果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成29年度3,563人、平成30年度2,903人となっております（平成28年度は片田小学校だったため、利用人数は未記載）。 今後、維持修繕等を行いながら、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。

施設名	施設の位置づけ 評価	評価判定	利用状況と整備・活用方針
甲賀社会 体育館 484 m ² 平成11年3月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安 全 性：B1 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：C	維持修繕	年間利用者数は、平成30年度1,884人となっております（平成28、29年度は甲賀小学校だったため、利用人数は未記載）。費用対効果は「C」となっていますが、旧甲賀小学校で平成11年に改築した比較的新しい施設であることから、スポーツだけでなく、運動や健康増進等も含めて利用促進に取り組み、計画的に修繕等を行いながら、機能維持を図ります。
国府社会 体育館 746 m ² 平成23年3月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安 全 性：A 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：C	維持修繕	年間利用者数は、平成30年度2,611人となっております（平成28、29年度は国府小学校だったため、利用人数は未記載）。費用対効果は「C」となっていますが、旧国府小学校で平成22年に改築した比較的新しい施設であることから、スポーツだけでなく、運動や健康増進等も含めて利用促進に取り組み、計画的に修繕等を行いながら、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。
成基社会 体育館 608 m ² 昭和57年2月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安 全 性：B2 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：B	維持修繕	平成29年度2,721人、平成30年度2,069人となっております。 施設の耐用年数は令和10年度までです。 年間利用者数は、平成28年度2,885人、維持修繕を基本としますが、今後、社会体育館としての位置づけだけでなく、立地条件や市民ニーズ等を踏まえ、他の用途への変更についても検討します。

施設名	施設の位置づけ 評価	評価判定	利用状況と整備・活用方針
阿児アリーナ オーシャン ホール 1,009.2 m ² 平成3年8月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性：A 利 用 状 況：A 費 用 対 効 果：C	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度24,561人、平成29年度7,666人、平成30年度47,920人となっております。 「三重とわか国体」の会場として整備したことを踏まえ、今後、計画的に修繕等を行いながら、スポーツ合宿誘致等、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。 ※阿児アリーナは文化施設であり、オーシャンホールのみが社会体育施設の用途となっています。
ともやま公園 多目的屋内 運動場 1,841.31 m ² 平成5年3月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 屋内運動場 安 全 性：B1 利 用 状 況：A 費 用 対 効 果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度6,753人、平成29年度7,019人、平成30年度7,896人となっております。 伊勢志摩国立公園の優れた自然環境の中で自然に親しみ、野外活動を通じて心身の健全な育成を図るため、公園一帯を施設として、昭和56年に野球場、平成3年にテニスコート、平成5年に多目的屋内運動場を建設しています。 供用開始後、小規模な修繕はしているものの、大規模な改修は実施しておらず、用途も含めて検討が必要です。

(2) プール

【現状と課題】

「3. 現状・課題の分析」(P7) に記載の通りです。

【各施設の利用状況と整理・活用方針】

施設名	施設の位置づけ 評価	評価判定	利用状況と整備・活用方針
浜島 B&G 海洋センター プール 967.76 m ² 平成3年3月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安全性：A 利用状況：A 費用対効果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度10,346人、平成29年度12,917人、平成30年度13,179人となっております。 B&G財団が建設し、無償譲渡を受けた施設。建設から年数が経過していることから老朽化が著しく修繕費が増大しています。この施設は、総合型地域スポーツクラブの拠点であり、市の基幹施設で、かつ浜島地区の数少ない施設であり、温水プールを有しているため、今後、老朽化等による機能不足の解消や地域の特性や新たなニーズへの対応等、施設のリニューアルを検討していきます。
志摩 B&G 海洋センター プール 875.07 m ² 昭和62年4月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安全性：B2 利用状況：C 費用対効果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度3,459人、平成29年度3,047人、平成30年度3,238人となっております。 B&G財団が建設し、無償譲渡を受けた施設。建設から年数が経過していることから老朽化が著しく修繕費が増大しています。しかしながら、B&G財団の助成対象施設であり、また、8年連続で優良経営の評価を受けていることから、さらなる追加助成の対象となる可能性があります。この施設は、総合型地域スポーツクラブの拠点であり、市の基幹施設で、かつ志摩地区の数少ない施設であり、7・8月の夏季シーズンのみの利用ではあるものの、学校水泳に利用可能な地域の唯一のプールを有しているため、今後、老朽化等による機能不足の解消や、地域の特性や新たなニーズへの対応等、施設のリニューアルを検討していきます。

施設名	施設の位置づけ 評価	評価判定	利用状況と整備・活用方針
磯部プール 1,156.60 m ² 昭和63年3月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安全性：A 利用状況：C 費用対効果：C	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度2,791人、平成29年度2,363人、平成30年度2,835人となっております。 企業誘致の地域貢献事業で建設された施設。 建設から30年以上が経過していることから老朽化が著しく修繕費が増大しています。屋外プールのため、利用可能な期間が限定的となることから利用状況が「C」評価となっています。しかし、磯部ふれあい公園と一体的な施設として位置づけ、当面の間は維持修繕に努めます。
阿児健康福祉 センター サンライフ あご プール 662.80 m ² 平成9年5月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安全性：D 利用状況：A 費用対効果：B	※調査 検討中	平成9年に市民の健康の保持及び増進並びに福祉の向上を図ることを目的に建設しました。 建物・設備とも経年劣化が進んでおり、利用者および屋内プール棟で働いている人の安全・安心を第一に考え、解体撤去します。今後は、さまざまな角度から現状を評価し、民間活力の活用も視野に入れて、工夫しながら施設のあり方を検討していきます。

(3) 屋外スポーツ施設（グラウンド・夜間照明等）

【現状と課題】

「3. 現状・課題の分析」(P8)に記載の通りです。

【各施設の利用状況と整理・活用方針】

施設名	施設の位置づけ (果たすべき役割)	評価判定	利用状況と整備・活用方針
浜島ふるさと 公園 多目的広場 8,835 m ² 平成8年3月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性：A 利 用 状 況：C 費用対効果：C	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度2,897人、平成29年度1,139人、平成30年度1,189人となっております。 グラウンドは、野球やサッカー等に利用されていますが、夜間照明は撤去済のため、日中利用のみとなっております。現状のまま活用を継続していきます。
志摩総合 スポーツ公園 多目的グラウ ンド 23,300 m ² 平成7年3月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性：A 利 用 状 況：B 費用対効果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度5,828人、平成29年度5,757人、平成30年度5,558人となっております。 グラウンドは自由に出入りができる公園のため、施設の貸出よりも個人が自由に利用している状況にあります。
磯部ふれあい 公園 多目的広場 11,479 m ² 平成5年4月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性：B2 利 用 状 況：B 費用対効果：B	維持修繕	グラウンドの年間利用者数は、平成28年度7,102人、平成29年度8,249人、平成30年度10,331人となっております。 グラウンドの夜間照明は体育館の工事と同時にLED化を行います。今後、維持修繕等を行いながら、他施設の集約拠点施設としての機能維持を図ります。

施設名	施設の位置づけ (果たすべき役割)	評価判定	利用状況と整備・活用方針
長沢野球場 13,835 m ² 昭和58年2月 建設 平成30年10 月改修済	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性：A 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：C	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度5,935人、平成29年度5,774人、平成30年度1,232人となっております。 「三重とこわか国体」・「三重とこわか大会」の会場として整備したことを踏まえ、今後、維持修繕等を行いながら、スポーツ合宿誘致等、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。
長沢多目的 広場 13,600 m ² 昭和58年2月 建設 平成30年10 月改修済	市の核となる施設 (地域の拠点) 安 全 性：A 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度1,044人、平成29年度2,675人、平成30年度145人となっております。 利用状況が「C」となっていますが、長沢野球場を補完する機能を有しているため、同施設と一体的に考えます。 「三重とこわか国体」・「三重とこわか大会」の会場として整備したため、今後、維持修繕等を行いながら、スポーツ合宿誘致等、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。
阿児ふるさと 公園 多目的広場 7,750 m ² 平成11年10月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：A 利 用 状 況：A 費 用 対 効 果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度6,882人、平成29年度7,093人、平成30年度7,371人となっております。 今後、維持修繕等を行いながら、他施設の集約拠点施設として検討し、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。

施設名	施設の位置づけ (果たすべき役割)	評価判定	利用状況と整備・活用方針
国府社会体育 広場 2,746 m ² 昭和54年1月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：A 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：C	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度1,033人、平成29年度1,377人、平成30年度1,526人となっております。 今後、維持修繕等を行いながら、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。
ともやま公園 球場 16,323 m ² 昭和56年3月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：C 利 用 状 況：B 費 用 対 効 果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度3,342人、平成29年度4,037人、平成30年度3,408人となっております。 伊勢志摩国立公園の優れた自然環境の中で自然に親しみ、野外活動を通じて心身の健全な育成を図るため、公園一帯を施設として、昭和56年に野球場を建設しています。 供用開始後、小規模な修繕はしているものの、大規模な改修は実施しておらず、用途も含めて検討が必要です。
志摩パーク ゴルフ場 50,106.4 m ² 平成16年3月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：B1 利 用 状 況：A 費 用 対 効 果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度28,564人、平成29年度28,201人、平成30年度24,735人となっております。 市民の健康維持・増進及び地域間交流を促進し、市民の福祉の向上及び地域の活性化に寄与するための施設として、平成16年にパークゴルフ場として整備しました。 現状の一部の建物は、経年劣化が進んで改修や更新が必要な状況ですが、メインとなる管理棟やコースは、常時小規模な修繕に努め、維持管理しています。

施設名	施設の位置づけ (果たすべき役割)	評価判定	利用状況と整備・活用方針
田神 グラウンド 6,020 m ² 平成元年3月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：A 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度3,000人、平成29年度2,920人、平成30年度880人となっております。 公園利用を目的に平成元年に設置し、以後、多目的グラウンドとして利用されています。 劣化箇所については、修繕をしながら維持していきます。
阿児の松原 スポーツ センター 308.08 m ² 昭和62年5月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：C (ただし、テニスコ ート：D) 利 用 状 況：A 費 用 対 効 果：B	用途変更	年間利用者数は、平成28年度8,393人、平成29年度7,336人、平成30年度4,896人となっております。 スポーツを通じて住民の体力向上及び心身の健全な発達を図り、もって住みよい地域社会を形成することを目的に昭和62年に整備しています。 施設自体は経年劣化が進んでいる状況ですが、管理棟は小規模な維持修繕を実施して運営しています。現状は、海岸利用者の駐車場及びシャワー利用が主であるため、用途変更や施設のあり方の方向性を検討する必要があります。 老朽化が進んでいるプールについては、平成27年度に廃止しました。テニスコートについても廃止を検討していきます。

(4) テニスコート

【現状と課題】

「3. 現状・課題の分析」(P8)に記載の通りです。

【各施設の利用状況と整理・活用方針】

施設名	施設の位置づけ (果たすべき役割)	評価判定	利用状況と整備・活用方針
浜島ふるさと公園 テニスコート 1,430 m ² 平成8年3月建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安全性：A 利用状況：C 費用対効果：C	維持修繕	年間利用者数は、施設全体で、平成28年度1,229人、平成29年度885人、平成30年度856人となっております。 テニスコートは利用が少ないため、他の用途への変更を検討します。
志摩総合スポーツ公園 テニスコート 5,000 m ² 平成7年3月建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安全性：C 利用状況：C 費用対効果：B	維持修繕	年間利用者数は、施設全体で、平成28年度1,456人、平成29年度1,380人、平成30年度1,163人となっております。 テニスコートは、地盤沈下により利用可能なコートが限られており、照明なども塩害により腐食が進んでいることから利活用・整備について検討が必要です。
磯部ふれあい公園 テニスコート 2,700 m ² 平成6年4月建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安全性：A 利用状況：C 費用対効果：B	維持修繕	テニスコートの年間利用者数は、平成28年度2,897人、平成29年度3,274人、平成30年度2,583人となっております。 テニスコートは、ハードコート2面をオムニコートに改修し、基幹施設の1つとして機能維持を図ります。

施設名	施設の位置づけ (果たすべき役割)	評価判定	利用状況と整備・活用方針
阿児ふるさと公園 テニスコート 5,700 m ² 昭和58年3月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 安全性：A 利用状況：C 費用対効果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度1,341人、平成29年度1,198人、平成30年度1,280人となっております。 学校部活動での利用が大半を占めていることから、利用状況を確認しながら、用途変更等も視野に入れて、利用目的に対応した機能維持を図ります。
賢島スポーツガーデン テニスコート 4,514.97 m ² 昭和61年3月 建設	市の核となる施設 (地域の拠点) 安全性：B1 利用状況：A 費用対効果：B	維持修繕	年間利用者数は、平成28年度10,977人、平成29年度10,695人、平成30年度10,572人となっております。 今後、維持修繕等を行いながら、他施設の集約拠点施設として検討し、現状の利用目的に対応した機能維持を図ります。
ともやま公園 テニスコート 3,000 m ² 平成4年4月 建設	日常的なスポーツ活動の場となる施設 野球場 安全性：A 利用状況：C 費用対効果：B	維持修繕	年間利用者数は、施設全体として、平成28年度1,223人、平成29年度1,051人、平成30年度924人となっております。 伊勢志摩国立公園の優れた自然環境の中で自然に親しみ、野外活動を通じて心身の健全な育成を図るため、公園一帯を施設として、平成3年にテニスコートを建設しています。 供用開始後、小規模な修繕はしているものの、大規模な改修は実施しておらず、用途も含めて検討が必要です。

(5) 武道場

【現状と課題】

「3. 現状・課題の分析」(P8)に記載の通りです。

【各施設の利用状況と整理・活用方針】

施設名	施設の位置づけ (果たすべき役割)	評価判定	利用状況と整備・活用方針
大王柔剣道場 219.70 m ² 昭和52年1月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：C 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：B	用途変更	年間利用者数は、平成28年度2,817人、平成29年度2,422人、平成30年度3,017人となっております。 利用状況を確認し、地元と協議して用途変更等検討します。
大王相撲場 99.75 m ² 平成元年8月 建設	日常的なスポーツ 活動の場となる施 設 安 全 性：B2 利 用 状 況：C 費 用 対 効 果：B	用途変更	年間利用者数は、平成28年度630人、平成29年度350人、平成30年度147人となっております。 利用状況を確認し、地元と協議して用途変更等検討します。

7. SDGs の目標達成に向けた取組の推進

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015（平成 27）年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載され持続可能でより良い世界を目指す国際社会共通の目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030（令和 12）年を年限とする 17 の国際目標が定められています。

本計画でも、「11 住み続けられるまちづくりを」「17 パートナーシップで目標を達成しよう」に関連することから、SDGs の目標達成に向けた取組を推進していきます。



資 料 編

1. 施設利用状況
2. 費用対効果（利用者数と収支のバランス）
3. 他市町との比較
4. アンケート結果

1. 施設利用状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていない過去3年度の数値を掲載する。

(1) 市の核となる施設（地域の拠点）

（単位：人）

施設名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
浜島B & G海洋センター	アリーナ	6,953	9,288	12,227
	プール	10,346	12,917	13,179
浜島ふるさと公園	多目的広場	2,897	1,139	1,189
	テニスコート	1,229	885	856
志摩B & G海洋センター	アリーナ	12,298	11,514	13,662
	プール	3,459	3,047	3,238
志摩総合スポーツ公園	多目的グラウンド	5,828	5,757	5,558
	テニスコート	1,456	1,380	1,163
長沢野球場		5,935	5,774	1,232
長沢多目的広場		1,044	2,675	145
阿児アリーナ（オーシャンホール）		24,561	7,666	47,920
賢島スポーツガーデン		10,977	10,695	10,572
磯部ふれあい公園	アリーナ	19,433	21,626	18,124
	多目的広場	7,102	8,249	10,331
	テニスコート	2,897	3,274	2,583
磯部プール		2,791	2,363	2,835

(2) 社会体育館等

(単位：人)

施設名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
迫塩社会体育館		3,919	3,023	3,014
船越社会体育館		※	681	1,229
片田社会体育館		※	3,563	2,903
甲賀社会体育館		※	※	1,884
国府社会体育館		※	※	2,611
成基社会体育館		2,885	2,721	2,069
国府社会体育広場		1,033	1,377	1,526
大王柔剣道場		2,817	2,422	3,017
大王相撲場		630	350	147
阿児ふるさと公園	多目的広場	6,882	7,093	7,371
	テニスコート	1,341	1,198	1,280

※ 学校開放施設としての期間

(3) 学校開放グラウンド（夜間照明）

(単位：人)

施設名	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
志摩中学校	1,108	994	778
大王中学校	853	329	608
神明小学校	624	961	281
東海中学校第2グラウンド	574	275	418
国府社会体育広場	1,033	1,377	1,526
磯部中学校	3,059	3,707	4,292

(4) その他

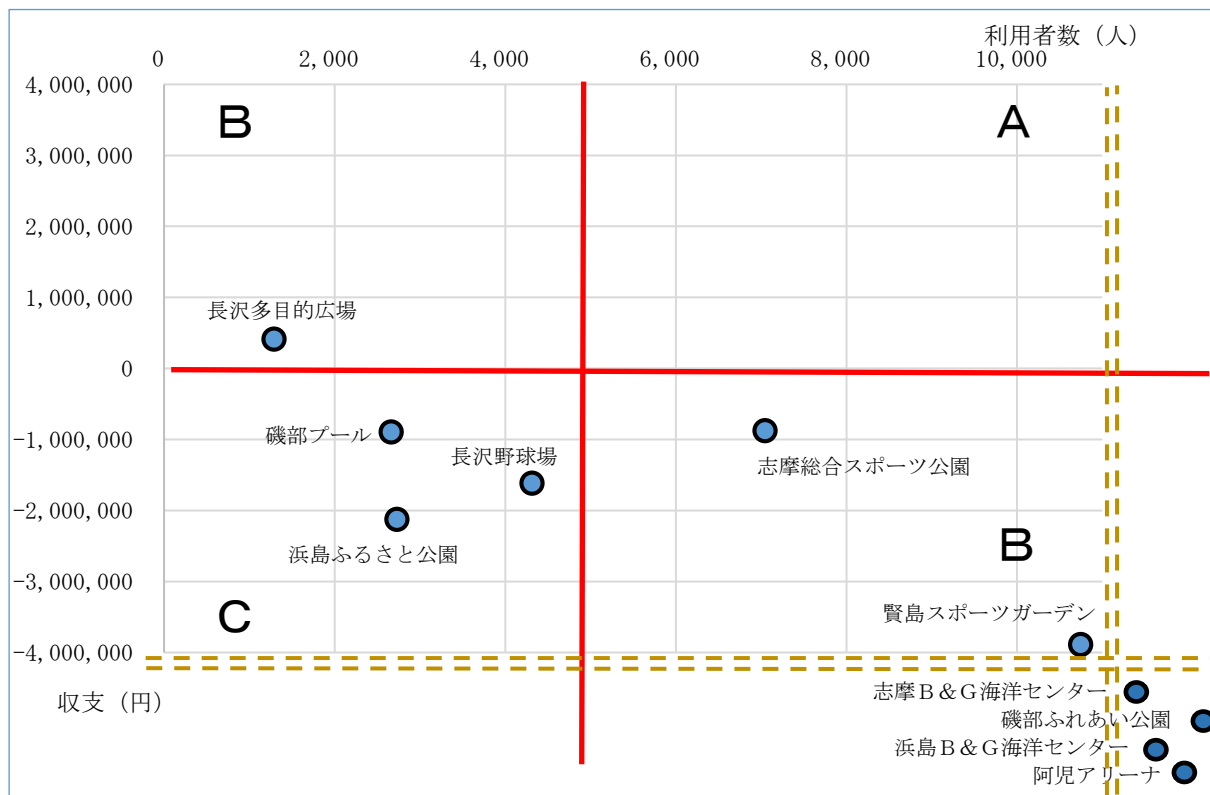
(単位：人)

施設名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
ともやま公園	多目的屋内運動場	6,753	7,019	7,896
	球場	3,342	4,037	3,408
	テニスコート	1,223	1,051	924
田神グラウンド		3,000	2,920	880
阿児健康福祉センター サンライフあご（プール）		49,823	49,972	51,037
志摩パークゴルフ場		28,564	28,201	24,735
阿児の松原スポーツセンター		8,393	7,336	4,896

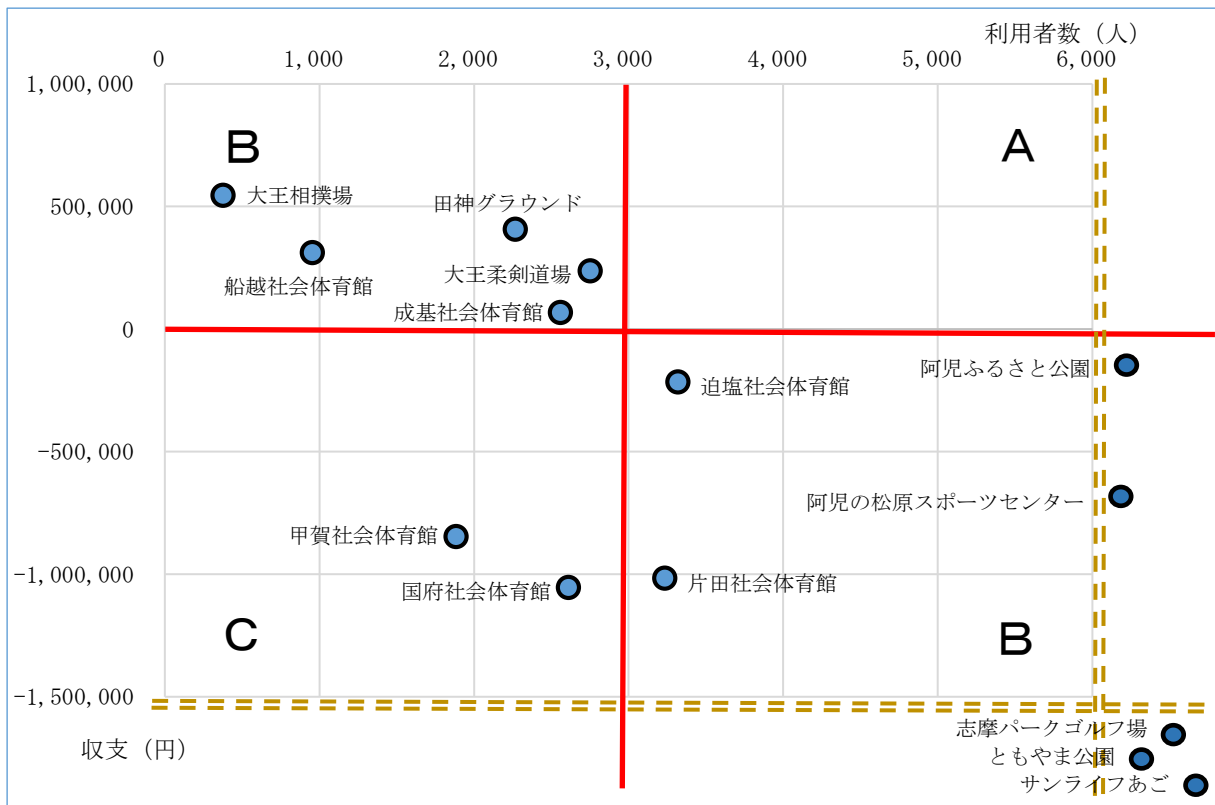
2. 費用対効果（利用者数と収支のバランス）

（データは、平成 28～30 年度平均）

（1）市の核となる施設



(2) 日常的なスポーツ活動の場となる施設



3. 他市町との比較

団体名	人口	体育館		陸上競技場		野球場		プール		テニスコート	
		箇所数	延面積 (㎡)	箇所数	敷地面積 (㎡)	箇所数	敷地面積 (㎡)	箇所数	水面面積 (㎡)	箇所数	面数 (面)
志摩市	46,104	9	9,909	1	23,300	2	22,500	4	1,390	6	27
津市	274,759	9	46,578	1	10,000	2	55,048	7	3,019	15	52
四日市市	305,744	7	16,685	1	3,086	7	71,923	7	3,574	4	26
伊勢市	122,855	6	8,930	-	-	5	119,904	3	1,183	-	-
松阪市	159,231	5	12,294	-	-	-	-	3	1,810	-	-
桑名市	138,671	3	10,309	-	-	7	118,092	5	2,869	-	-
鈴鹿市	195,742	2	10,803	1	23,200	4	45,051	2	1,136	-	-
名張市	76,414	2	6,317	1	22,260	1	18,500	3	1,415	-	-
尾鷲市	16,257	2	3,068	1	21,771	1	23,175	-	-	-	-
亀山市	49,878	3	7,956	1	8,050	2	29,199	3	1,405	3	10
鳥羽市	17,537	1	3,170	1	22,503	1	17,481	1	1,269	-	-
熊野市	15,966	2	2,921	1	13,050	3	44,179	1	385	-	-
いなべ市	45,000	3	8,383	1	10,000	6	71,369	2	609	2	8
伊賀市	88,863	7	5,740	1	13,740	1	13,000	3	2,891	-	-
木曾岬町	6,020	1	1,876	-	-	2	28,328	-	-	-	-
東員町	25,791	2	4,542	1	65,774	2	32,516	1	1,826	-	-
菰野町	40,571	2	3,779	-	-	2	18,700	1	325	1	4
朝日町	11,022	1	2,030	-	-	1	8,420	1	400	-	-
川越町	15,131	1	4,646	-	-	1	10,191	1	425	-	-
多気町	14,017	3	3,210	-	-	2	79,256	-	-	-	-
明和町	22,473	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大台町	8,675	5	7,047	-	-	1	9,200	-	-	-	-
玉城町	15,044	2	2,060	-	-	1	-	1	-	-	-
度会町	7,852	4	3,078	-	-	1	17,611	3	1,651	-	-
大紀町	7,822	2	1,529	-	-	-	-	1	1,192	-	-
南伊勢町	10,979	10	9,728	-	-	2	53,594	1	325	-	-
紀北町	14,618	3	3,278	1	19,600	-	-	1	375	-	-
御浜町	8,081	1	630	-	-	-	-	-	-	-	-
紀宝町	10,323	2	3,801	2	20,903	-	-	-	-	-	-

※人口は、「令和2年度国勢調査 人口速報集計結果」より

※体育館、陸上競技場、野球場、プールは、「公共施設状況調査（総務省）」より

※テニスコートは、津市、四日市市、亀山市、いなべ市、菰野町分については、各団体がホームページで公表している運動施設やスポーツ施設に関する情報をもとに市が集計（他の団体分については、調査が未実施のため「不明」）

4. アンケート結果

令和3年10月に実施した「志摩市の運動・スポーツ実施状況とスポーツ施設に関するアンケート」の結果（下記の①、②）を次頁以降に掲載します。

- ①Web アンケート分
- ②書面アンケート分

志摩市の運動・スポーツ実施状況とスポーツ施設に関するアンケート結果

【①Web アンケート分】

【調査の概要】

- ・ 調査の目的： 志摩市の運動・スポーツの実施状況やスポーツ施設の在り方等について状況を把握し、また、市民等が健康に過ごせる環境づくりや、運動・スポーツを楽しんでもらえる環境づくりを推進するための将来に向けた方向性を取りまとめるため。
- ・ 実施方法： 志摩市のホームページ上に掲載した Web アンケートサイトを告知した（新聞折り込みチラシ等を実施）
- ・ 実施期間： 令和3年10月8日（金）～10月25日（月）
- ・ 回答数： 1,143件

【調査の結果】

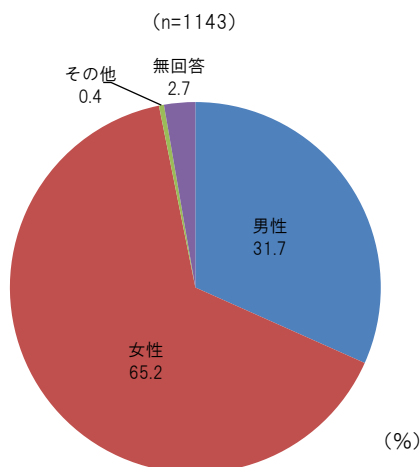
（注）

- ・ 各設問の有効サンプル（無回答を除いた回答）のみを集計しています（属性に関する設問は除く）。なお、グラフ中のnは、設問ごとの有効サンプル数です。
- ・ 単数回答の設問に複数の回答があったものについては、1つの回答に絞って集計しています。
- ・ 回答割合（％）は、複数回答の設問の場合、100％を超えている場合があります。また、小数点以下第二位を四捨五入して表示しているため、単数回答の設問の場合であっても、合計が100.0％とならない場合があります。

I. 回答者の属性

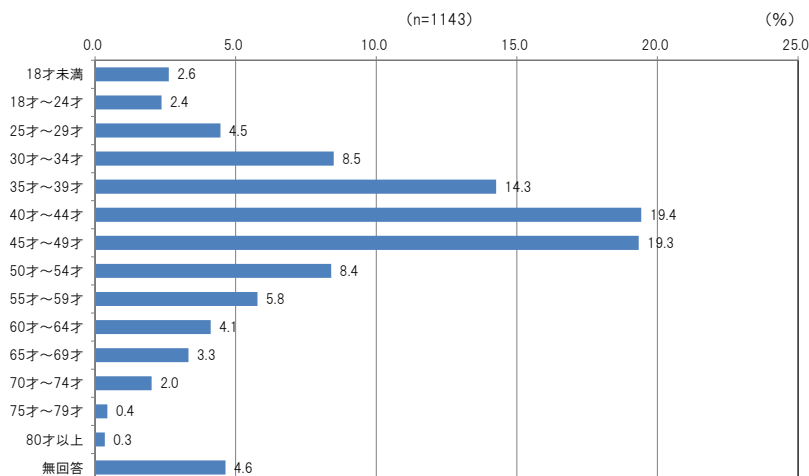
1. 性別

「男性」が31.7%、「女性」が65.2%と、女性の方が、割合が高くなっています。



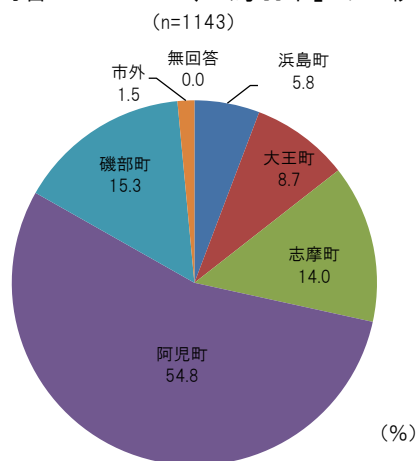
2. 年齢 (2021年4月1日時点)

「40代」が38.7%と最も高く、「30代 (22.8%)」、「50代 (14.2%)」が次いで高くなっています。



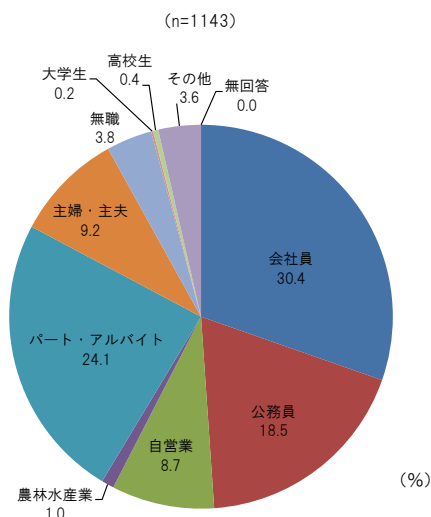
3. 居住地

「阿児町 (54.8%)」が最も高く、「磯部町 (15.3%)」、「志摩町 (14.0%)」が次いで高くなっています。「市外 (1.5%)」の内容については、「鳥羽市」や「伊勢市」などが複数みられました。



4. 職業 (主な職種)

「会社員 (30.4%)」が最も高く、「パート・アルバイト (24.1%)」、「公務員 (18.5%)」が次いで高くなっています。「その他 (3.6%)」の内容については、「中学生」や「小学生」などが複数みられました。



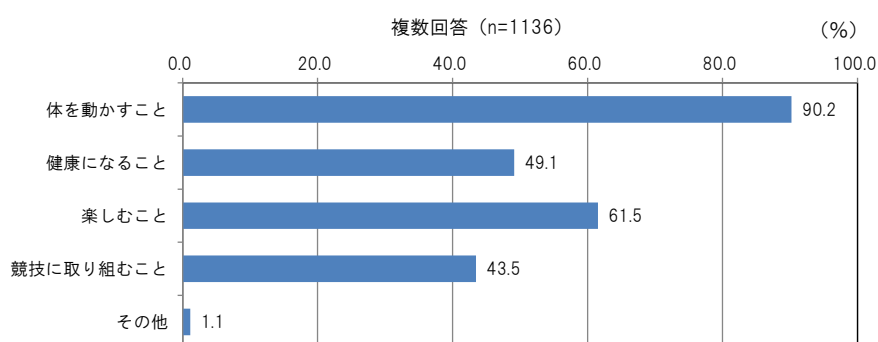
Ⅱ. 回答結果

問1. あなたの運動・スポーツ実施状況についてお聞きします

問1-1. 「スポーツ」と聞いて、どのような内容を想像しますか（複数回答可）

「体を動かすこと（90.2%）」が最も高く、「楽しむこと（61.5%）」、「健康になること（49.1%）」、「競技に取り組むこと（43.5%）」と続いています。「その他（1.1%）」の内容では、「仲間づくり・友達づくり」に関するものが複数みられました。

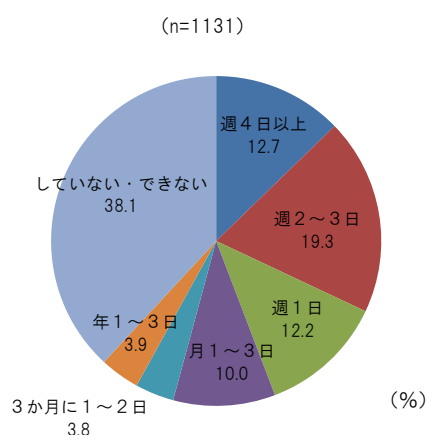
「体を動かすこと」のほかは、「健康」や「楽しみ」、「競技」など、連想するものは人それぞれであることが窺えます。



問1-2. あなたは、この1年間に運動・スポーツをどの程度実施しましたか

「週1日以上」の回答は 44.2% になっており、「週1回以上のスポーツ実施率」は、全国の数値（「スポーツの実施状況等に関するアンケート調査・令和2年度 59.9%（成人全体の数値）」）よりも下回っています。

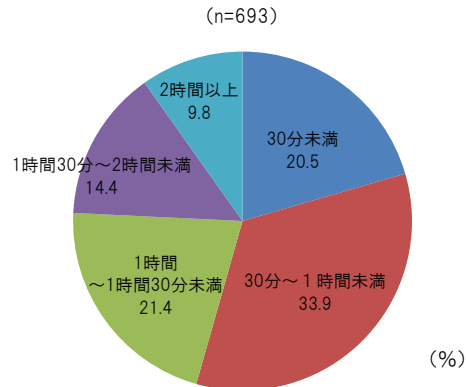
「していない・できない」は、約4割（38.1%）となっています。



問2. 運動・スポーツをしていると答えた方へお聞きします

問2-1. 1日にどの程度運動・スポーツをしていますか

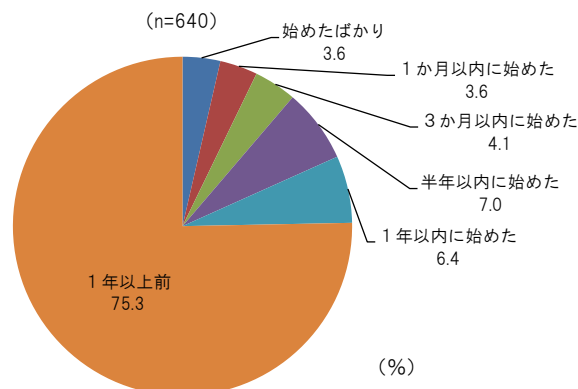
「30分～1時間未満（33.9%）」が最も高く、「1時間～1時間30分未満（21.4%）」が次いで高くなっており、1時間未満が5割超（54.4%）を占めています。一方で、「2時間以上」が9.8%みられ、運動・スポーツの実施時間はバラツキがみられます。



問2-2.

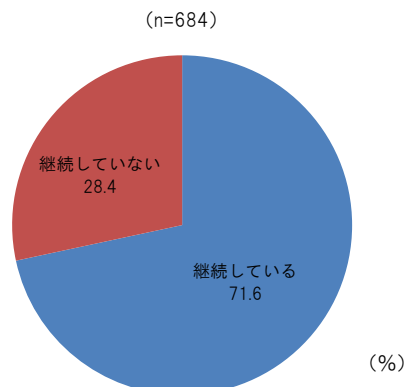
①運動・スポーツを始めた時期について

「1年以上前（75.3%）」が約4分の3を占めています。運動習慣のある人の多くは、継続して運動・スポーツを実施している傾向があることが窺えます。



②1年間以上継続していますか

「継続している（71.6%）」が約7割を占めています。「問2-2」と同様、運動習慣のある人の多くは、継続して運動・スポーツを実施している傾向があることが窺えます。

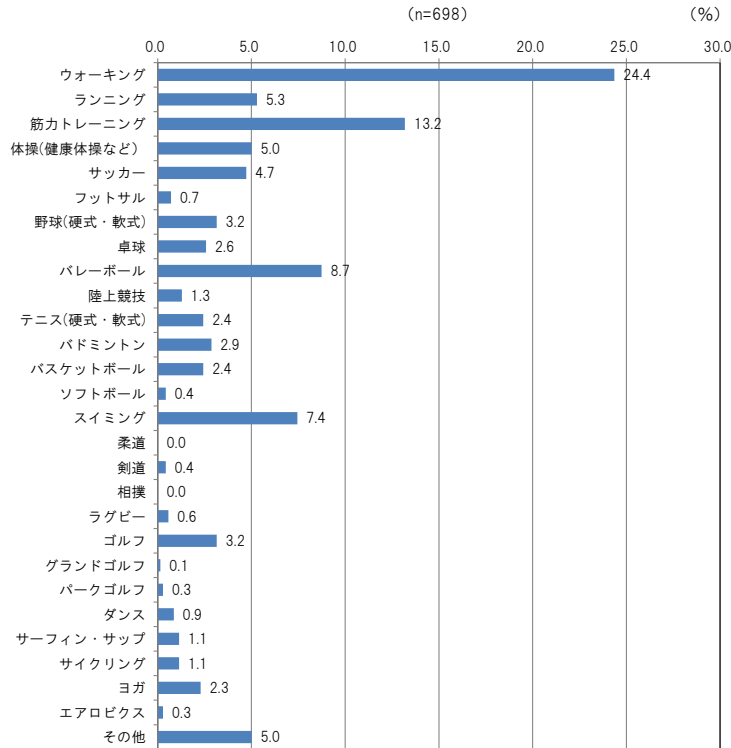


問2-3. 主に実施している運動・スポーツを1つお答えください

「ウォーキング (24.4%)」が最も高く、「筋力トレーニング (13.2%)」「バレーボール (8.7%)」「スイミング (7.4%)」が次いで高くなっています。

1人でも実施できる運動・スポーツの割合が比較的高くなっているなか、団体スポーツではバレーボールが高くなっています。

「その他 (5.0%)」では、下記のものが見られました (主なものを記載)。



[その他の内容 (主なもの)]

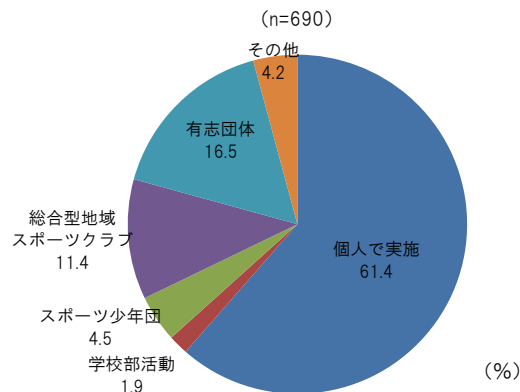
縄跳び、空手、カヤック、スケートボード、各種ニュースポーツ

問2-4. 運動・スポーツの実施方法について

「個人で実施(61.4%)」が最も高く、「有志団体(16.5%)」「総合型地域スポーツクラブ(11.4%)」が次いで高くなっています。

部活・サークルなどの団体で実施している割合は3割を超え(34.3%)、団体に所属してスポーツを実施している人も多いことがわかります。

「その他(4.2%)」の内容では、「スポーツジム」や「職場」、「家族」に関するものが複数見られました。

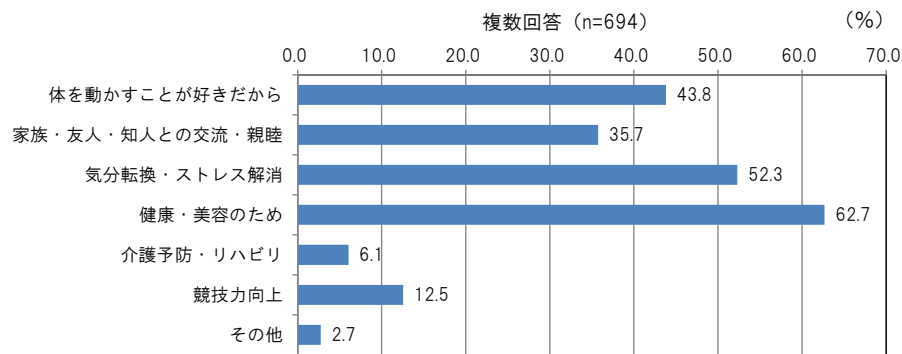


問2-5. 運動・スポーツをする目的について（複数回答可）

「健康・美容のため（62.7%）」が最も高く、「気分転換・ストレス解消（52.3%）」、「体を動かすことが好きだから（43.8%）」が次いで高くなっています。

「その他（2.7%）」の内容では、「仕事」や「犬の散歩」といった回答が複数みられました。

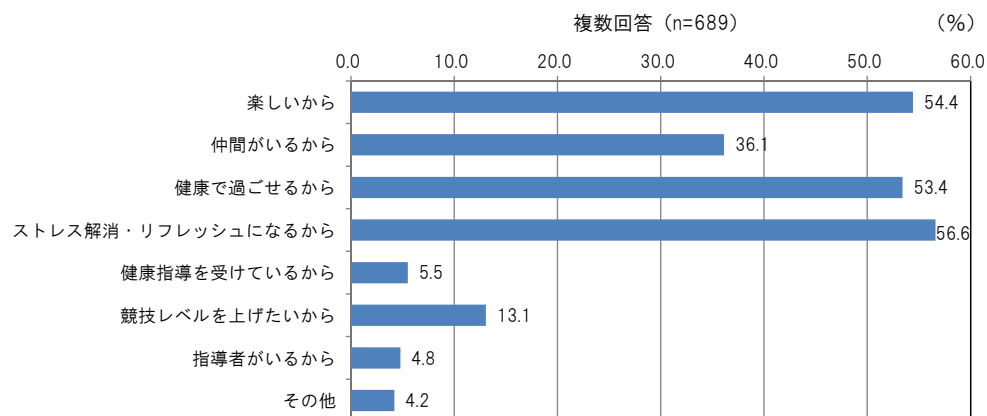
運動習慣のある人の多くは、「健康」や「気分転換」を目的としてスポーツを実施している傾向があることが窺えます。



問2-6. 運動・スポーツを続けている理由は何ですか（複数回答可）

「ストレス解消・リフレッシュになるから（56.6%）」、「楽しいから（54.4%）」、「健康で過ごせるから（53.4%）」がいずれも5割超となっています。「その他（4.2%）」の内容では、「家族（子供など）の相手」や「仕事」に関するものが複数みられました。

「気分転換を図りたい意識」や「健康に対する意識」、「運動・競技・スポーツ活動の楽しさ」が運動習慣に関係していることが窺えます。

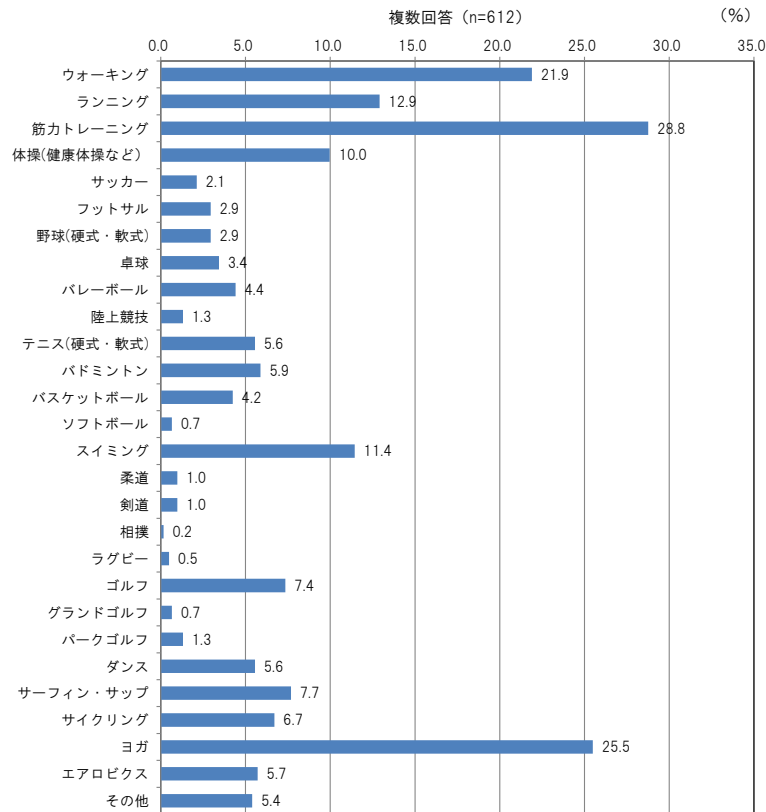


問2-7. 今後、新たに始めたい・興味がある運動・スポーツはありますか
(複数選択可)

「筋力トレーニング (28.8%)」が最も高く、「ヨガ (25.5%)」、「ウォーキング (21.9%)」、「ランニング (12.9%)」、「スイミング (11.4%)」が次いで高くなっています。

運動習慣のある人が、さらに取り組みたい運動・スポーツがどのようなものであるかが窺えます。

「その他 (5.4%)」の内容では、下記のものが見られました (主なものを記載)。



[その他の内容 (主なもの)]

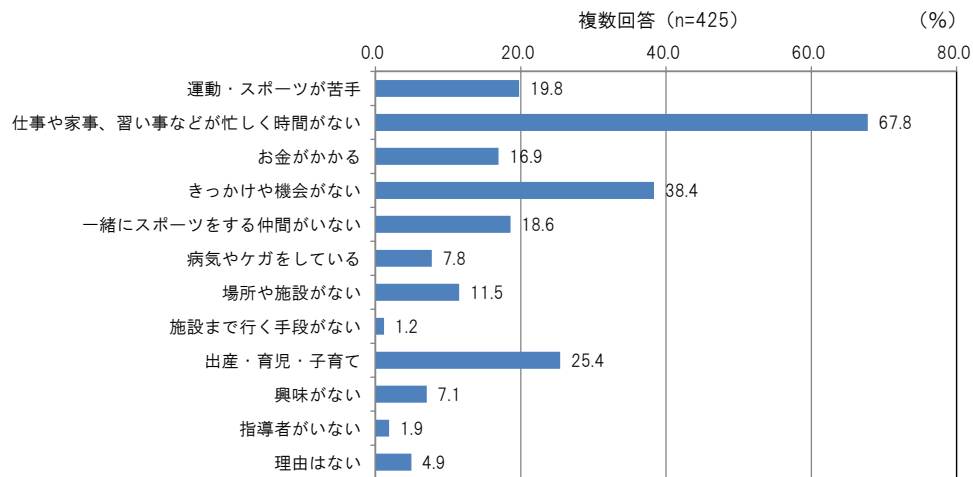
空手、ボクシング、ボルダリング、トレッキング、シーカヤック、各種ニュースポーツ

問3. 運動・スポーツをしていないと答えた方へお聞きします

問3-1. 運動・スポーツをしていない理由を教えてください（複数回答可）

「仕事や家事、習い事などが忙しく時間がない（67.8%）」が他よりも大幅に高く、「きっかけや機会がない（38.4%）」、「出産・育児・子育て（25.4%）」が次いで高くなっています。

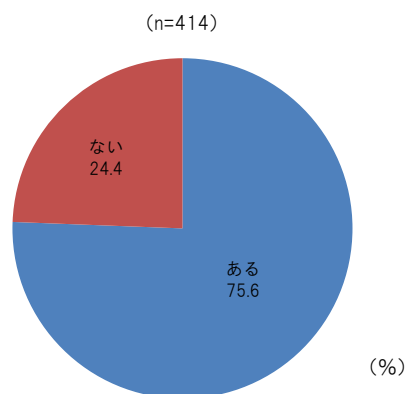
運動習慣のない人が運動・スポーツを実施できるようにするためには、「短時間に又は気軽に運動・スポーツが実施できる環境づくり」や「きっかけづくり」が重要であることが窺えます。



問3-2. 過去に運動・スポーツをしていた経験はありますか

「ある（75.6%）」が、4分の3を占めています。

運動習慣のない人の中には、過去に運動・スポーツを実施していた人が多くいることがわかります。

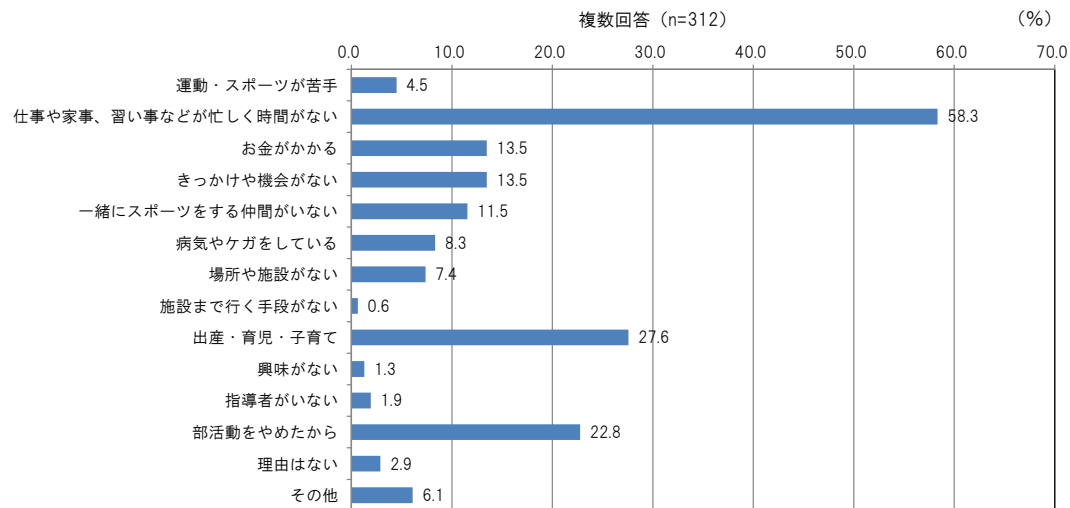


問3-3. 運動・スポーツをやめた理由を教えてください（複数回答可）

＜運動・スポーツをしていないと回答した人のうち、過去に運動・スポーツをしていた経験があると回答した人への設問＞

「仕事や家事、習い事などが忙しくて時間がない（58.3%）」が他よりも大幅に高く、「出産・育児・子育て（27.6%）」、「部活動をやめたから（22.8%）」が次いで高くなっています。「その他（6.1%）」の内容では、「コロナ禍」や「体調・怪我」に関するものが複数みられました。

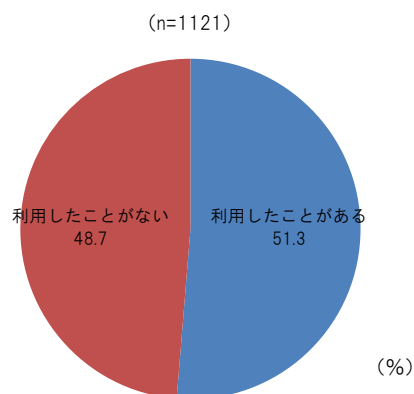
仕事や家事、出産・育児、学校卒業などで運動習慣がなくなる人が多いことが窺えます。



問4. 志摩市の公共スポーツ施設についてお聞きします（全ての方へ）

問4-1. 公共スポーツ施設の利用について

「利用したことがある（51.3%）」、「利用したことがない（48.7%）」がともに、約5割となっています。



問4-2. 利用している施設について（利用頻度が高い上位3つまでお答えください）

<利用したことがある人への設問>

回答内容について、上位1～3位までの分を合わせて、回答数を集計したものを次頁に掲載しました。

施設によって、回答数が多いものと少ないもののバラツキがみられます。

施設	回答数	場所	回答数	うち、グラウンド夜間照明 (ナイター) 使用
浜島B&G海洋センター	74	体育館 (アリーナ)	34	
		プール	34	
		武道場	3	
		その他	1	
浜島ふるさと公園	11	グラウンド	5	1
		テニスコート	6	
志摩B&G海洋センター	72	体育館 (アリーナ)	32	
		プール	12	
		武道場	4	
		その他	1	
志摩総合スポーツ公園	8	グラウンド	6	
		テニスコート	1	
長沢野球場	22	グラウンド	22	19
長沢多目的広場	22	グラウンド	22	
賢島スポーツガーデン	22	テニスコート	22	
磯部ふれあい公園	125	体育館 (アリーナ)	43	
		グラウンド	37	6
		テニスコート	13	
		その他	15	
磯部プール	11	プール	11	
大王柔剣道場	1	道場	1	
大王相撲場	0	相撲場	0	
ともやま野球場	14	グラウンド	14	9
ともやま屋内運動場	27	体育館 (アリーナ)	17	
		その他	3	
ともやま公園テニスコート	5	テニスコート	5	
田神グラウンド	1	グラウンド	1	
阿児アリーナ	47	体育館 (アリーナ)	34	
		その他	4	
サンライフあご	189	プール	111	
		その他	71	
志摩パークゴルフ場	10	その他	10	
阿児ふるさと公園テニスコート	6	テニスコート	6	
阿児ふるさと公園多目的広場	18	グラウンド	15	5
		その他	1	
阿児の松原スポーツセンター	2	その他	1	
迫塩社会体育館	8	体育館 (アリーナ)	8	
船越社会体育館	3	体育館 (アリーナ)	3	
片田社会体育館	3	体育館 (アリーナ)	3	
甲賀社会体育館	13	体育館 (アリーナ)	8	
国府社会体育館	24	体育館 (アリーナ)	17	
国府社会体育広場	2	グラウンド	2	2
成基社会体育館	5	体育館 (アリーナ)	5	
浜島小学校	5	体育館 (アリーナ)	3	
大王小学校	7	体育館 (アリーナ)	7	
		グラウンド	0	
志摩小学校	8	体育館 (アリーナ)	7	
		グラウンド	1	1
鵜方小学校	24	体育館 (アリーナ)	19	
		グラウンド	4	
神明小学校	35	体育館 (アリーナ)	14	
		グラウンド	19	11
東海小学校	15	体育館 (アリーナ)	15	
磯部小学校	15	体育館 (アリーナ)	10	
浜島中学校	3	体育館 (アリーナ)	2	
大王中学校	18	体育館 (アリーナ)	8	
		グラウンド	10	10
志摩中学校	11	体育館 (アリーナ)	4	
		グラウンド	7	7
文岡中学校	23	体育館 (アリーナ)	23	
東海中学校	12	体育館 (アリーナ)	7	
		グラウンド	5	4
磯部中学校	23	体育館 (アリーナ)	11	
		グラウンド	10	9

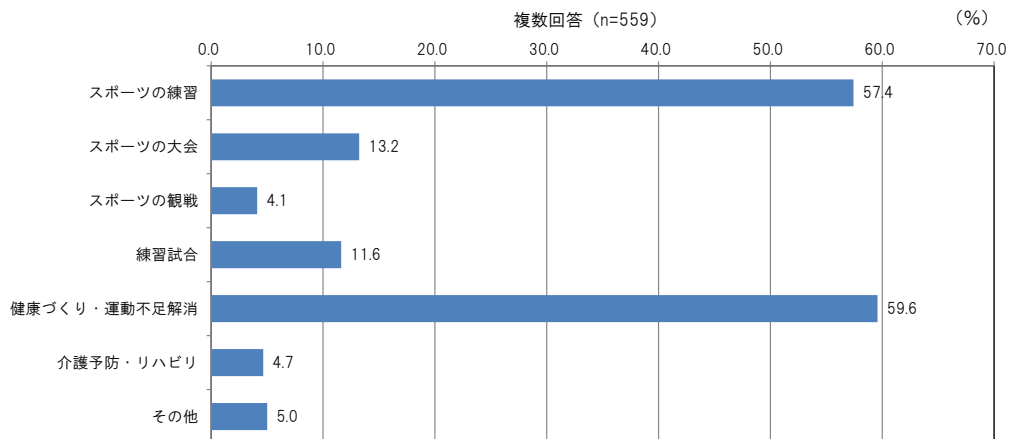
※各項目の無回答や誤入力と判断される回答は集計していません。よって、「場所」の合計が、「施設」の数値と一致しない場合があります。

※「場所」は、市の区分で、かつ調査時点で供用されているものを対象に集計しています。「その他」は、回答があった場合のみ表示しています。

問4-3. スポーツ施設を利用する目的について（複数回答可） <利用したことがある人への設問>

「健康づくり・運動不足解消（59.6%）」、「スポーツの練習（57.4%）」が他よりも大幅に高く、日常的な運動・スポーツの場としての利用が大半となっています。

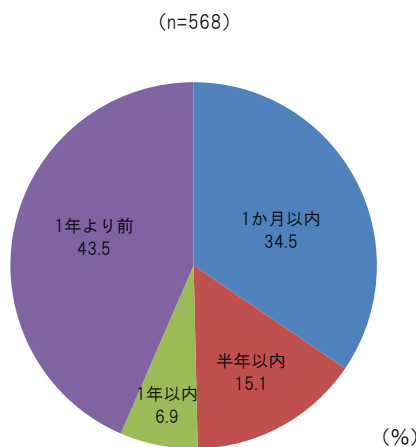
「その他（5.0%）」の内容では、「家族（子供など）や友人との遊び」や「地域の人との親睦」に関する回答が複数みられました。



問4-4. 施設の直近の利用状況について （選択した3つの施設のうち、最も利用頻度が高い施設） <利用したことがある人への設問>

「1年よりも前（43.5%）」が最も高くなっている一方で、「1か月以内（34.5%）」も約3分の1みられました。

利用したことがある人の利用頻度については、頻度の高い人と、低い人の差が大きいことが窺えます。

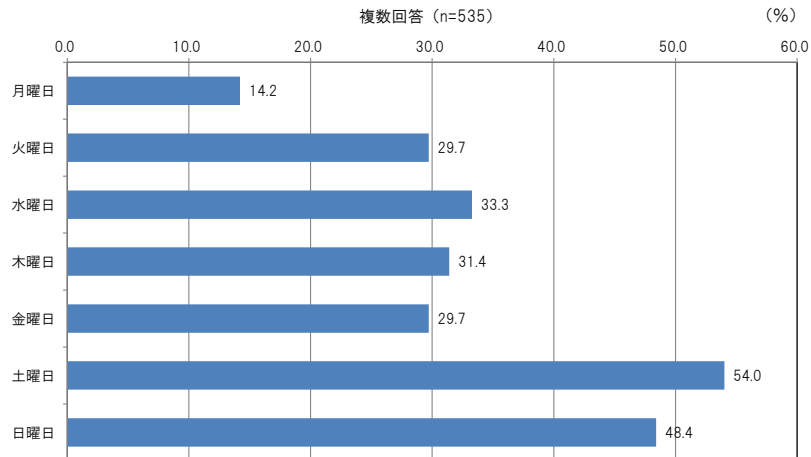


問4-5. 利用の曜日について（複数回答可）

＜利用したことがある人への設問＞

「土曜日（54.0%）」が最も高く、「日曜日（48.4%）」が次いで高くなっています。

「月曜日（14.2%）」が最も低くなっているのは、月曜日が休館日となっている施設が多いためとみられます。

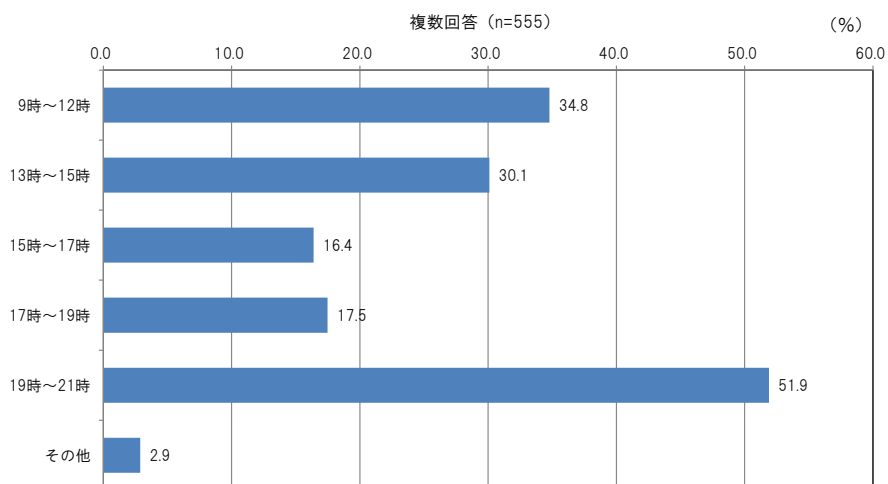


問4-6. 利用の時間帯について（複数回答可）

＜利用したことがある人への設問＞

「19時～21時（51.9%）」と最も高く、「9時～12時（34.8%）」、「13時～15時（30.1%）」が次いで高くなっています。「その他（2.9%）」の内容では、「21時以降の時間帯」や「9時以前の時間帯」を挙げる回答が複数みられました。

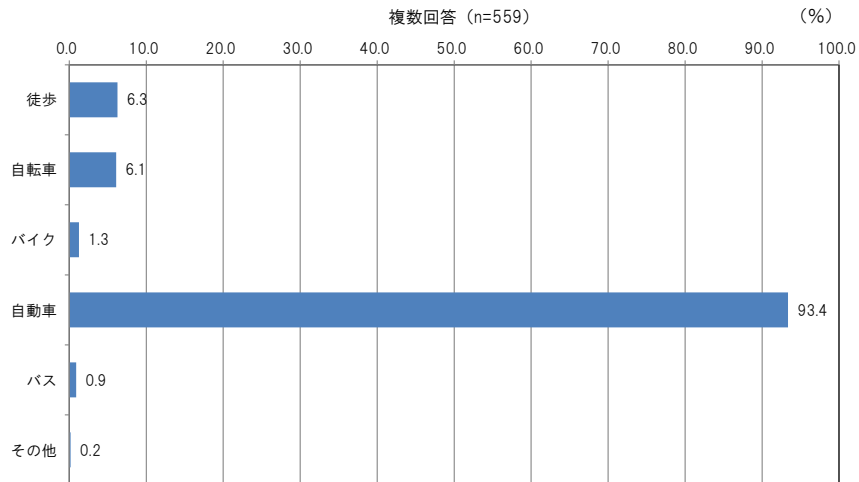
それぞれのライフスタイルに応じた時間帯での利用が多いものと窺えます。



問4-7. よく利用している施設までの移動手段について（複数回答可）
 <利用したことがある人への設問>

「自動車（93.4%）」が9割超と、他よりも大幅に高くなっています。

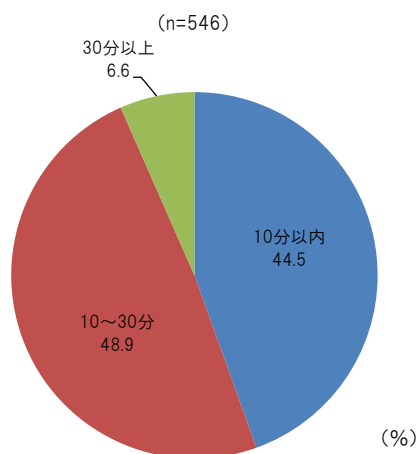
市の公共スポーツ施設等の利用者は、ほとんどが自動車で施設まで移動していることがわかります。



問4-8. よく利用している施設までの所要時間について
 <利用したことがある人への設問>

「10～30分（48.9%）」が約5割で最も高く、「10分以内（44.5%）」が次いで高くなっています。

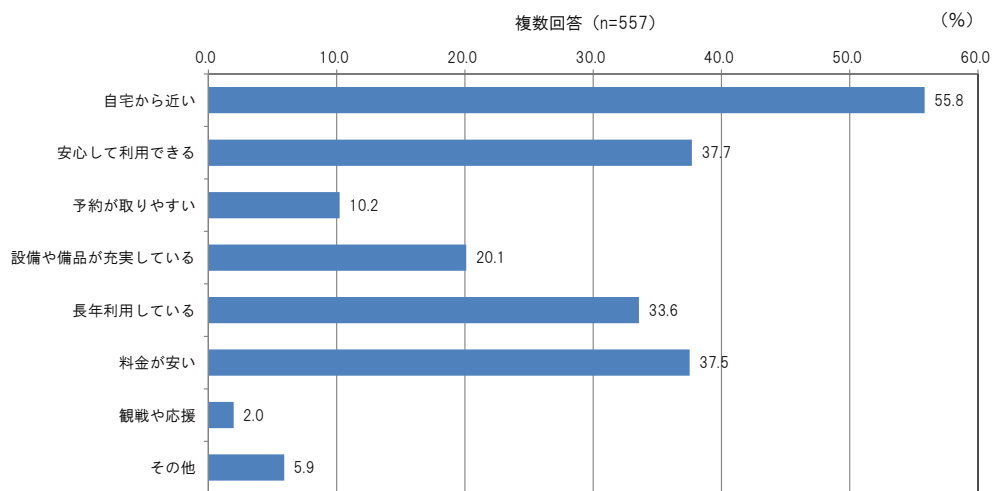
自動車での利用が多いことを踏まえると、距離の面では、自宅から比較的離れたスポーツ施設も利用している人が多いことが窺えます。



問4-9. スポーツ施設を利用する理由について（複数回答可） <利用したことがある人への設問>

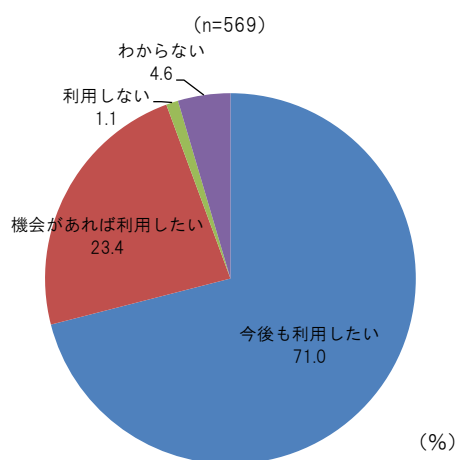
「自宅から近い（55.8%）」が5割超と最も高く、「安心して利用できる（37.7%）」、「料金が安い（37.5%）」、「長年利用している（33.6%）」が次いで高くなっています。「その他（5.9%）」の内容では、「所属するクラブ・サークルなどの活動の場」や「競技ができる施設が限られている」といった回答が複数みられました。

「自宅からアクセスが良いこと」のほか、「安全な運動環境」や「料金」、「通い慣れていること」で施設を選択している傾向があることが窺えます。



問4-10. 今後の利用希望について <利用したことがある人への設問>

「今後も利用したい（71.0%）」が約7割と最も高くなっています。今後の継続利用を希望する人が多いことが窺えます。

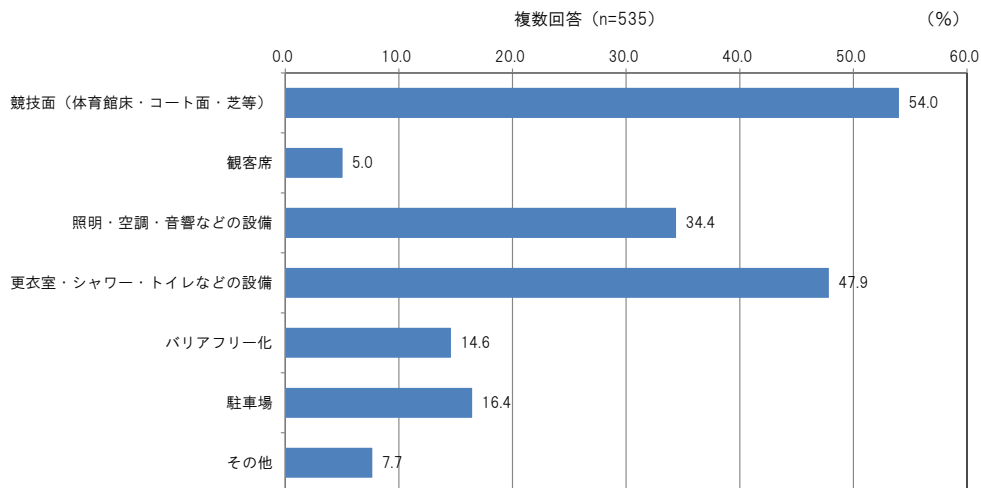


問4-11. あなたは、既存の公共スポーツ施設のどこを改修していくことが必要だと思いますか（3つまで選択してください）

＜利用したことがある人への設問＞

「競技面（体育館床・コート面・芝等）（54.0%）」が5割超と最も高く、「更衣室・シャワー・トイレなどの設備（47.9%）」、「照明・空調・音響などの設備（34.4%）」が次いで高くなっています。

競技環境の維持・改善に対する要望が多いことが窺えます。

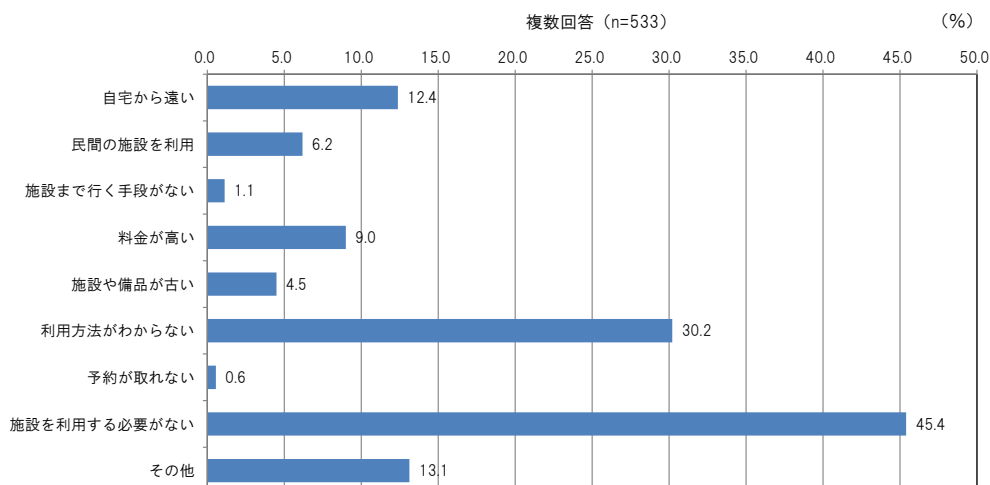


問4-12. スポーツ施設を利用しない理由について（複数回答可）

＜利用したことがない人への設問＞

「施設を利用する必要がない（45.4%）」が最も高く、「利用方法がわからない（30.2%）」が次いで高くなっています。「その他（13.1%）」の内容では、「どのような施設があるかわからない」に関する回答が複数みられました。

スポーツ施設等の利用促進を図る上では、「利用方法や利用したい施設がすぐにわかるような環境づくり」が重要であることが窺えます。

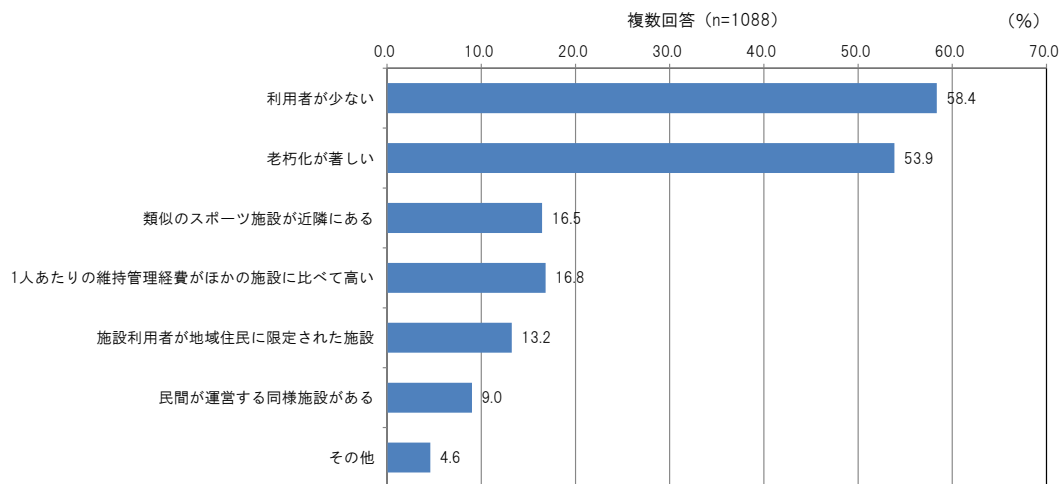


問5. これからの志摩市の公共スポーツ施設についてお聞きします（全ての方へ）

問5-1. 人口減少や少子高齢化が進み、今ある全てのスポーツ施設を適切に維持することが難しくなることが予想されます。今後、サービスを維持していくためには、どのような施設を見直すべきだと思いますか（3つまで選んでください）

「利用者が少ない（58.4%）」、「老朽化が著しい（53.9%）」がともに5割超となっています。

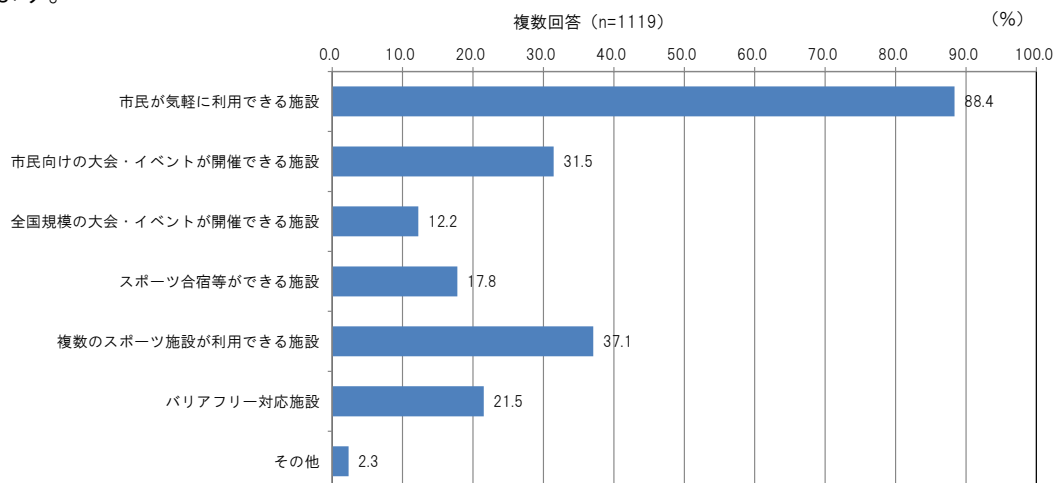
「その他（4.6%）」の内容では、「利用方法が限定されている施設」や「気軽に利用できない施設」のほか、「利用促進を図ることを優先するべき」や「利用料金を高くしても維持することを優先すべき」との回答がみられました。



問5-2. 志摩市のスポーツ環境を整備・充実するために施設に必要な機能をどのように考えていきますか（3つまで選択してください）

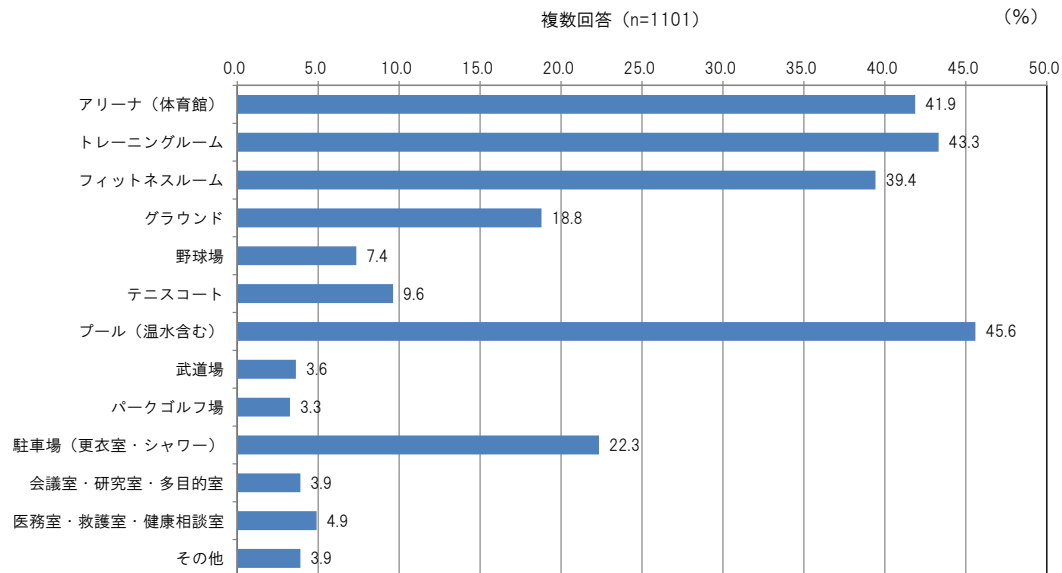
「市民が気軽に利用できる施設（88.4%）」が、他よりも大幅に高く、約9割となっており、「複数のスポーツ施設が利用できる施設（37.1%）」、「市民向けの大会・イベントが開催できる施設（31.5%）」が次いで高くなっています。「その他（2.3%）」の内容では、「子ども・子育て世代向けの施設」、「健康増進向けの施設」との回答が複数みられました。

市民等には、「日常的な利用の場」や「複合的な施設」の整備・充実に関する要望が多いことが窺えます。



問5-3. これから充実させてほしいスポーツ施設の種類について（複数回答可）

「プール（温水含む）（45.6%）」が最も高く、「トレーニングルーム（43.3%）」、「アリーナ（体育館）（41.9%）」、「フィットネスルーム（39.4%）」が次いで高くなっています。「その他（3.9%）」の内容では、下記のものがありました。



[その他の内容（主なもの）]

サッカー場・人工芝グラウンド、ウォーキングコース・トリムコース、サイクリングロード、ボルダリング場、スケボーパーク、子ども向けの運動スペース、高齢者向けの健康運動スペース

問5-4. 今後の志摩市のスポーツ施設に対するご意見ご要望等ございましたらご自由にご記入ください

主な意見を下記のように掲載します。

1. 今後のスポーツ施設の整備の方向性に関する意見・要望
・スポーツは、健康増進はもちろん、高齢者にとっては介護予防になるため、目に見える費用以上の効果があると思う。今後とも近隣のスポーツ施設で気軽に楽しめるようにしていきたい。（男性・50代）
・スポーツ施設は、市民の健康維持に大変重要です。気軽に寄れるスポーツ施設がなくなること、健康維持が難しくなり、病気が進行し医療費がかかるようでは本末転倒と思う。そのあたりを慎重に検討されるべきと思う。（女性・40代）
・人口減少や少子高齢化により施設が少なくなると、子ども達の身心の成長に影響があると思う。（男性・40代）

<ul style="list-style-type: none"> ・施設を減らすことを優先すべきではない。今以上に、「スポーツは大切」という意識を市民が持つようになれば、市民の健康が増進されて医療費は低減し、市の財政に良い影響を与える。また、全国規模の大会が開催されれば、誘客が可能になり、観光でも役に立つ。(男性・70代)
<ul style="list-style-type: none"> ・大きな大会ができる施設よりも、市民が健康増進のために使える施設の整備を重視すべき。(女性・50代)
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと予算をかけて、整備・改修をきちんとしてほしい。子ども達のためにも、スポーツ施設は大事である。(男性・40代)
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設を充実させて、また、ホテルなどと協力しながら、県内外のスポーツ団体に貸出をして、外貨を稼ぐ方を講じるべき。(女性・年齢不明)
<ul style="list-style-type: none"> ・市内には、海岸など、トレーニングに適した環境がある。スポーツで人を呼び込めるような施設や仕組みがあると望ましい。地元食材を食事で提供することは、合宿地としてのアピールになると考えられる。(女性・30代)
<ul style="list-style-type: none"> ・市内または近隣市町における各種のスポーツ人口・年齢層を把握した上で、どのような施設がどの程度必要かを平等・公平の視点から判断し、施設を見直すことが必要と思う。(男性・40代)
<ul style="list-style-type: none"> ・市が管理する施設が多すぎて全てが中途半端になっているように思う。「税金をかけてより良くする施設」、「閉鎖して削減する施設」を選別していかなければいけないと感じる。(男性・50代)
<ul style="list-style-type: none"> ・類似施設の統廃合によって、スポーツ施設の簡素化・効率化を進めてほしい。(男性・50代)
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の視点だけでなく、防災や健康づくり、介護予防、子育て支援、観光なども含めて全庁的に考えていく必要がある。(男性・60代)
<p>2. 屋内施設（市民利用）に関する意見・要望</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールや、フットサルが禁止されている体育館があるのは残念である。(女性・40代)
<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備が設置されていない体育館等の屋内運動施設が多いので改善してほしい。(男性・50代)
<ul style="list-style-type: none"> ・体育館にエアコンをつけてほしい。(女性・50代)
<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みのプールの利用料金が、子ども達分だけでも無料なのはありがたい。(女性・40代)
<ul style="list-style-type: none"> ・備品が古いものは安全面を考慮して新しくしてほしい。(女性・40代)
<p>3. 屋外施設（市民利用）に関する意見・要望</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市には芝のサッカー場があるのに、市内にはないので整備してほしい。競技を続けたくても続けられない子どもが増えている。(男性・50代)
<ul style="list-style-type: none"> ・市内には野球場はあるのにサッカー場がない。シニアチームを立ち上げたが市内にはグラウンドがないので、近くても、伊勢市で試合をしているのが現状。若い世代との交流の場としても、人工芝の多目的グラウンドができて欲しい。(男性・50代)
<ul style="list-style-type: none"> ・野球場は数が多いのに、他の屋外スポーツ施設は少ない。サッカーや陸上の大会となると市外で行われるのがほとんどで、スポーツをしたい子どもが市外に流出しているのが現状。長

<p>沢多目的広場をサッカーができるように人工芝のグラウンドにしてはどうか。(性別不明・10代)</p>
<p>・人口規模を考慮すると、ナイター照明のある野球場は3つも必要ないと考えられる。また、社会体育施設のグラウンド設備が本当に必要かを考えていただきたい。(男性・60代)</p>
<p>・夜間も気軽にテニスコートを利用できるようにしていただくとうれしい。(女性・20代)</p>
<p>・テニスコートの表面が剥がれてきて危険なところがある。(女性・50代)</p>
<p>・市内は、他市に比べて小学校高学年から中学生が体を動かせる場所が少ないと思うので整備してほしい。(女性・30代)</p>
<p>・近くに子どもが運動できるスペースがなく、ボール等で遊んでいると近所の人に注意されることがある。気軽に運動目的で利用できるグラウンドが各所にあってほしい。(男性・10代)</p>
<p>・サイクリングロードの整備や案内をしっかりと実施すれば、市民も楽しめるし、観光客も呼べると思う。(男性・40代)</p>
<p>・温暖な気候や自然環境の良さを生かし、クロスカントリーができる場など、市外からの利用による経済効果が期待できる施設を整備してほしい。(男性・50代)</p>
<p>4. 社会体育施設に関する意見・要望</p>
<p>・志摩市はソフトバレーが盛んな方だと思います。にもかかわらず、備品が古くて不便なところがあるので改善してほしい。(性別不明・30代)</p>
<p>・雨が降ると床面が危なくて使用できないところがある。改善をしてほしい。(男性・40代)</p>
<p>・廃校となった学校の施設を低料金で貸出を続けていることに疑問がある。料金設定や稼働率から考えて、市の財政面での持ち出しが大きいと考えられる。一部の団体しか利用していない施設であるため、市の財政負担削減の観点から廃止を進めてほしい。(男性・50代)</p>
<p>5. 大会の場・スポーツ合宿の場に関する意見・要望</p>
<p>・「伊勢サンアリーナ」で開催される全国規模の大会に参加するチームの宿泊誘致を図るために、大会参加チームが利用できる施設の整備を進めていただきたい。(男性・60代)</p>
<p>・スポーツ合宿の受入ができるように、硬式野球場や、サッカー・ラグビー等で利用できるグラウンドの整備のほか、多人数が宿泊できる施設の充実化を図ってほしい。(女性・40代)</p>
<p>6. 具体的な施設に関する意見・要望</p>
<p>・「磯部ふれあい公園」では、たくさんの方がウォーキングやジョギングをしている。足に優しい舗装に改良してほしい。(女性・40代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールを存続させてほしい。健康増進施設としてプールでリハビリをしている市民も多にいる。一生懸命、スイミングをしている子ども達もいる。(女性・40代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールは存続させるべきと思う。小さい子どもから高齢者まで利用できるスポーツはプールであるため。健康増進やリハビリにも役立ち、絶対必要と思う。(女性・40代)</p>
<p>・「サンライフあご」でスイミングを続けたい。最初は泣きながら始めたスイミングでしたが、大好きな先生に出会って毎週楽しくいけるようになった。(男性・10代)</p>
<p>・「サンライフあご」が整備されたことで、それまで他市まで子どもたちをスイミングスクールに通わせる必要があったのが、市内で通えるようになった。プールが廃止されると、また不</p>

<p>便になる。また、高齢者の行き場所がなくなる。障がい者の水中運動の重要性も考えてほしい。幅広い市民が利用でき、健康増進に役立つプールの大切さを考えてほしい。(男性・70代)</p>
<p>・「サンライフあご」のスイミング教室は、市の子ども達も気軽に通える数少ない習い事である。なくさないでほしい。(女性・40代)</p>
<p>・高齢化が進む中、老人が健康でいることが老人介護に係る現役世代の負担軽減につながると考えられる。高齢になると筋力運動が難しくなるが、プールなら負担をかけずに運動ができる。「サンライフあご」のプールは、高齢者の利用が多いため、存続させてほしい。(女性・50代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールを存続させてほしい。プールの維持費の負担は大変と思うが、市民の健康や子ども達の将来のことを考慮して、存続を希望する。(女性・50代)</p>
<p>・「サンライフあご」には、鳥羽から通っています。「世代や地域を超えての交流の場」になっていると実感している。是非、存続させてほしい。(男性・30代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールの存続を希望する。民間施設になっても、少く料金があがっても構わない。(女性・40代)</p>
<p>・「ともやま公園」の屋内運動場やテニスコートの地面のコンディションが良くないので改良してほしい。(性別不明・40代)</p>
<p>7. その他の意見・要望</p>
<p>・全てのスポーツ施設の空き状況を把握できて、すぐに予約できるようにしてほしい。そのため一括管理システムの導入を希望する。(男性・40代)</p>
<p>・フィットネスや健康相談室に、気軽に相談できる理学療法士や、トレーナー指導の経験のある専門職がいてほしい。(男性・30代)</p>
<p>・施設に、予防と健康増進の観点から専門職の配置してほしい。(男性・40代)</p>
<p>・どんな公共スポーツ施設があることを知らなかった。利用方法を知りたい。インターネット上に施設の情報を載せて欲しい。(男性・20代)</p>
<p>・市のスポーツ施設は気軽に利用できる雰囲気がない。同じ人・団体ばかりが利用している印象がある。(女性・年齢不明)</p>

志摩市の運動・スポーツ実施状況とスポーツ施設に関するアンケート結果

【②書面アンケート分】

【調査の概要】

- ・ 調査の目的 : 志摩市の運動・スポーツの実施状況やスポーツ施設の在り方等について状況を把握し、また、市民等が健康に過ごせる環境づくりや、運動・スポーツを楽しんでもらえる環境づくりを推進するための将来に向けた方向性を取りまとめるため。
- ・ 実施方法 : スポーツが実施できる市の公共施設（市のスポーツ施設等）にて、利用者に調査票を配布・回収した。
市内で活動するスポーツ団体を通じて、団体に所属する市民等に調査票を配布・回収した。
- ・ 実施期間 : 令和3年10月8日（金）～10月25日（月）
- ・ 回答数 : 277件

【調査の結果】

(注)

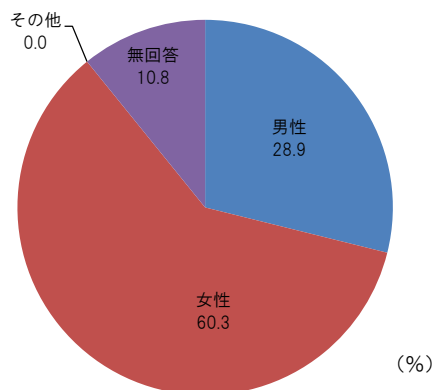
- ・ 各設問の有効サンプル（無回答を除いた回答）のみを集計しています（属性に関する設問は除く）。なお、グラフ中のnは、設問ごとの有効サンプル数です。
- ・ 単数回答の設問に複数の回答があったものについては、1つの回答に絞って集計しています。
- ・ 回答割合（％）は、複数回答の設問の場合、100％を超えている場合があります。また、小数点以下第二位を四捨五入して表示しているため、単数回答の設問の場合であっても、合計が100.0％とならない場合があります。

I. 回答者の属性

1. 性別

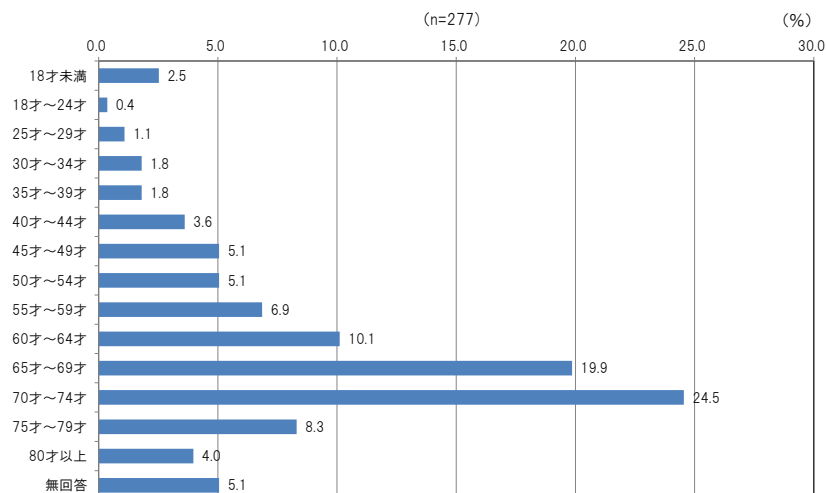
「男性」が28.9%、「女性」が60.3%と、女性の方が、割合が高くなっています。

(n=277)



2. 年齢（2021年4月1日時点）

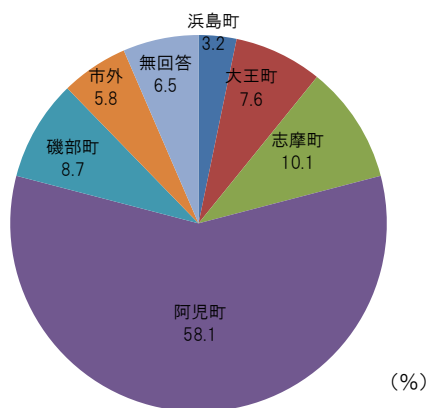
「70代」が32.8%と最も高く、「60代（30.0%）」、「50代（12.0%）」が次いで高くなっています。



3. 居住地

「阿児町（58.1%）」が最も高く、「志摩町（10.1%）」「磯部町（8.7%）」が次いで高くなっています。「市外（5.8%）」の内容については、「鳥羽市」や「南伊勢町」が複数みられました。

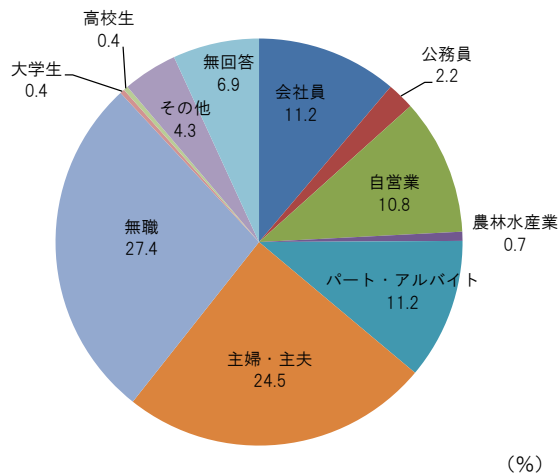
(n=277)



4. 職業（主な職種）

「無職（27.4%）」が最も高く、「主婦・主夫（24.5%）」が次いで高くなっています。「その他（4.3%）」の内容については、「中学生」や「小学生」などがみられました。

(n=277)



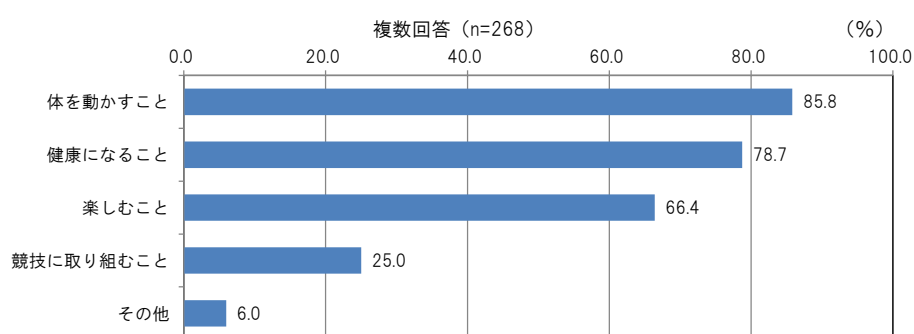
Ⅱ. 回答結果

問1. あなたの運動・スポーツ実施状況についてお聞きします

問1-1. 「スポーツ」と聞いて、どのような内容を想像しますか（複数回答可）

「体を動かすこと（85.8%）」が最も高く、「健康になること（78.7%）」、「楽しむこと（66.4%）」と続いています。「その他（6.0%）」の内容では、「交流」や「リハビリ」に関する回答が複数みられました。

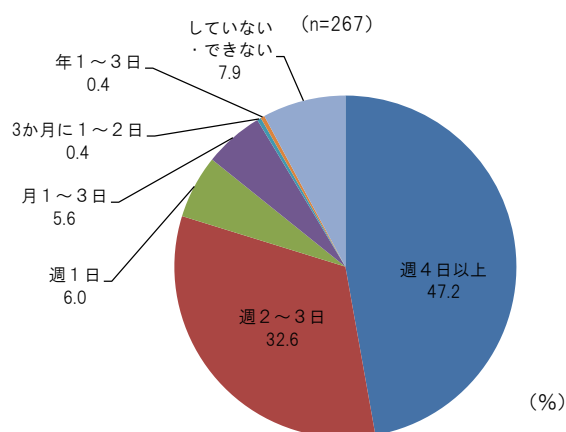
「健康になること」の割合が高いのは、回答者のうち、年齢の高い人の割合が高いためとみられます。



問1-2. あなたは、この1年間に運動・スポーツをどの程度実施しましたか

「週1日以上」の回答は 85.8% になっており、「週1回以上のスポーツ実施率」は、全国の数値（「スポーツの実施状況等に関するアンケート調査・令和2年度 59.9%（成人全体の数値）」）よりも大きく上回っています。これは、回答者のうち、市のスポーツ施設等の利用者の占める割合が高いことによるものとみられます。

「していない・できない」は、7.9%でした。



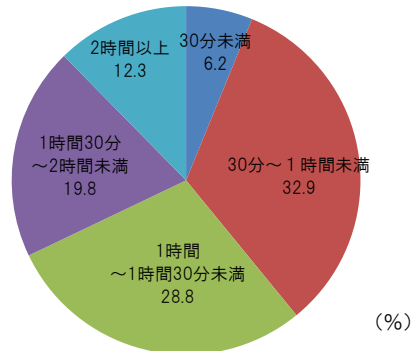
問2. 運動・スポーツをしていると答えた方へお聞きします

問2-1. 1日にどの程度運動・スポーツをしていますか

「30分～1時間未満（32.9%）」が最も高く、「1時間～1時間30分（28.8%）」、「1時間30分～2時間未満（19.8%）」が次いで高くなっています。

これらの合計で全体の約8割（81.5%）を占めており、市のスポーツ施設等の利用者の「1回あたりの利用時間」の多くはこれらの範囲となっていることが窺えます。

(n=243)

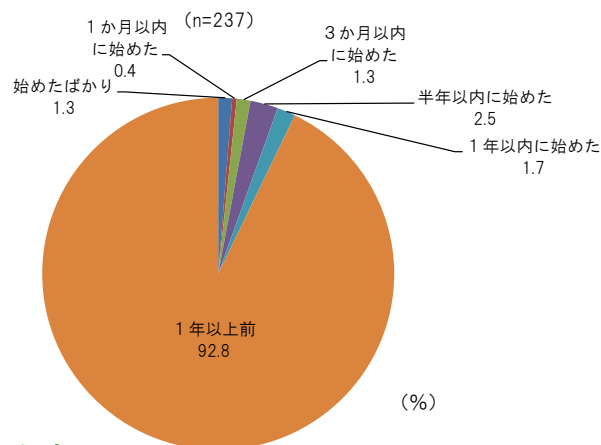


問2-2.

①運動・スポーツを始めた時期について

「1年以上前（92.8%）」が全体の約9割となっています。

市のスポーツ施設等の利用者の多くは継続して運動・スポーツを実施している傾向があることが窺えます。

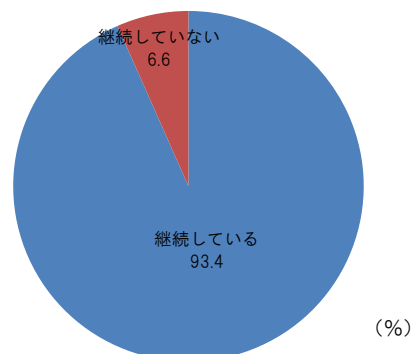


②1年間以上継続していますか

「継続している（93.4%）」が9割超を占めています。

「問2-2」と同様、市のスポーツ施設等の利用者の多くは継続して運動・スポーツを実施している傾向があることが窺えます。

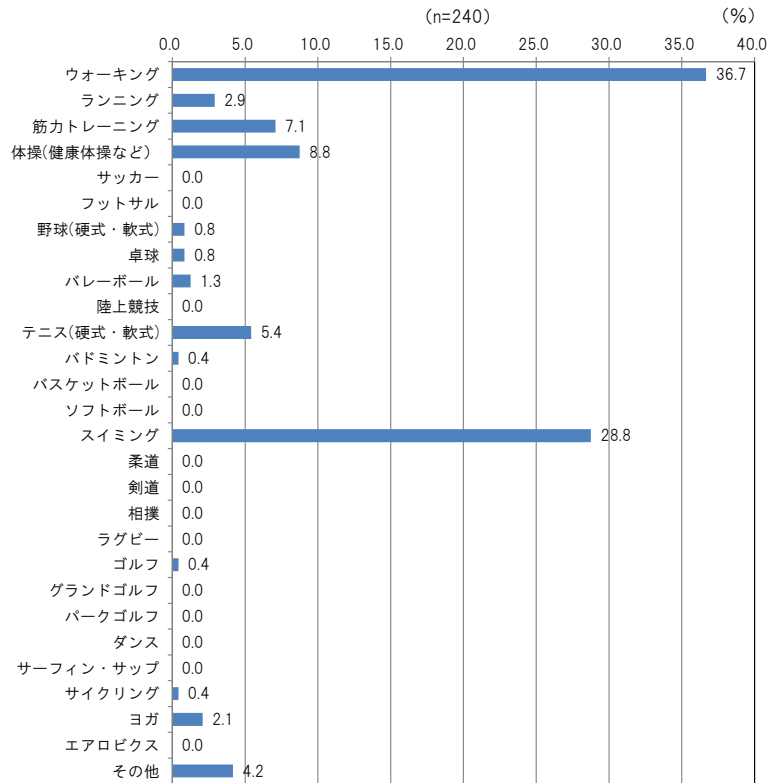
(n=226)



問2-3. 主に実施している運動・スポーツを1つお答えください

「ウォーキング (36.7%)」が最も高く、「スイミング (28.8%)」が次いで高くなっています。
1人でも実施できる運動・スポーツが比較的高くなっています。回答者には、市のスポーツ施設等の利用者の割合が高いことから、スイミングの割合が高くなっているとみられます。

「その他 (4.2%)」では、下記のものが見られました (主なものを記載)。



[その他の内容 (主なもの)]

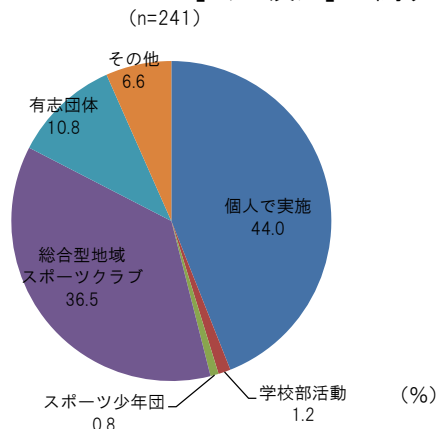
水中ウォーキング、カローリング、フリーテニス、登山・ハイキング

問2-4. 運動・スポーツの実施方法について

「個人で実施 (44.0%)」が最も高く、「総合型地域スポーツクラブ (36.5%)」が次いで高くなっています。

部活・サークルなどの団体で実施している割合としては約5割 (49.3%) みられ、団体に所属してスポーツを実施している人も多いことがわかります。

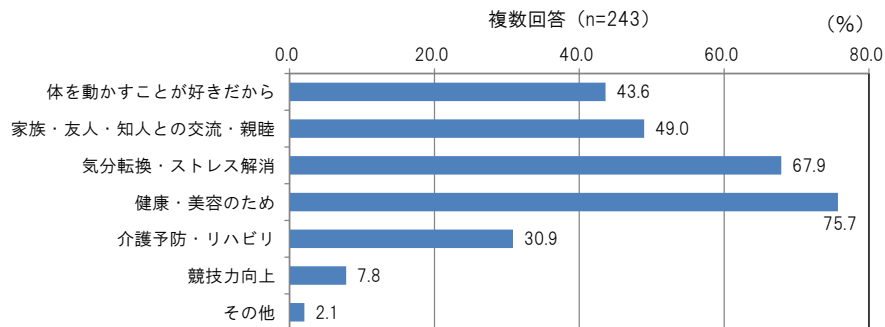
「その他 (6.6%)」の内容では、「スポーツジム」や「友人」に関するものが複数見られました。



問2-5. 運動・スポーツをする目的について（複数回答可）

「健康・美容のため（75.7%）」が最も高く、「気分転換・ストレス解消（67.9%）」、「家族・友人・知人との交流・親睦（49.0%）」が次いで高くなっています。

運動習慣のある人の多くは、健康や気分転換、交流・親睦を目的としてスポーツを実施している傾向があることが窺えます。

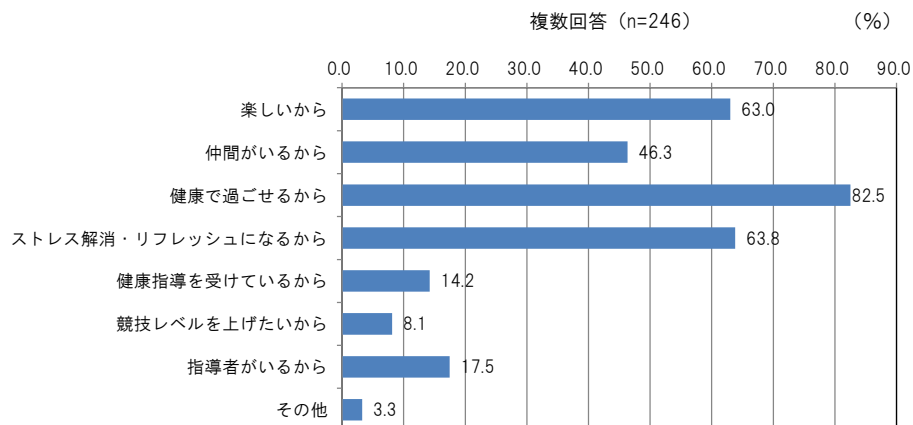


問2-6. 運動・スポーツを続けている理由は何ですか（複数回答可）

「健康で過ごせるから（82.5%）」が約8割と他よりも大幅に高く、「ストレス解消・リフレッシュになるから（63.8%）」、「楽しいから（63.0%）」が次いで高くなっています。

「その他（3.3%）」の内容では、「医者からの勧め」に関するものが複数みられました。

「健康に対する意識」、「気分転換を図りたい意識」、「運動・競技・スポーツ活動の楽しさ」が運動習慣に関係していることが窺えます。

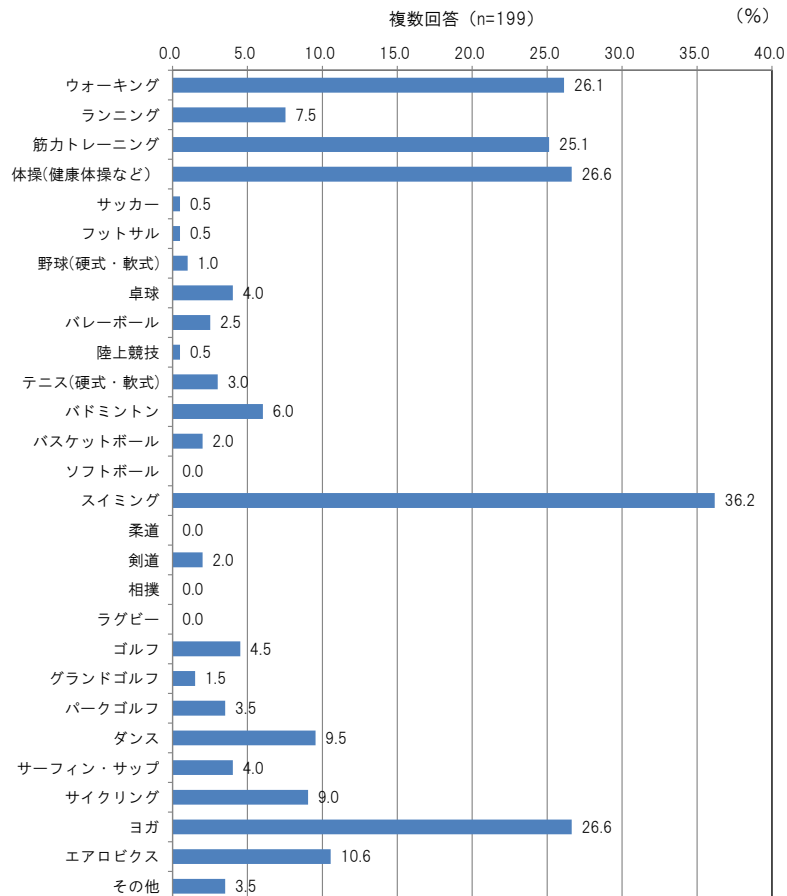


問2-7. 今後、新たに始めたい・興味がある運動・スポーツはありますか (複数選択可)

「スイミング (36.2%)」が最も高く、「体操 (健康体操など) (26.6%)」、「ヨガ (26.6%)」
「ウォーキング (26.1%)」、「筋力トレーニング (25.1%)」が次いで高くなっています。

市のスポーツ施設等の利用者 (特に年齢の高い人) は、これらの運動・スポーツに対する関心
が高いことが窺えます。

「その他 (3.5%)」の内容では、下記のものがみられました (主なものを記載)。



[その他の内容 (主なもの)]

空手、合気道、登山

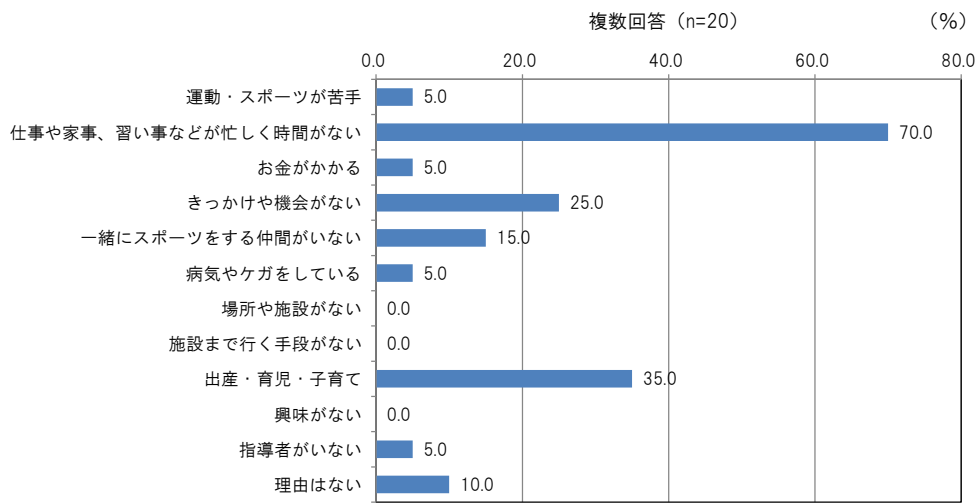
問3. 運動・スポーツをしていないと答えた方へお聞きします

問3-1. 運動・スポーツをしていない理由を教えてください（複数回答可）

「仕事や家事、習い事などが忙しくて時間がない（70.0%）」が他よりも大幅に高く、「出産・育児・子育て（35.0%）」「きっかけや機会がない（25.0%）」が次いで高くなっています。

運動習慣のない人が運動・スポーツを実施できるようにするためには、「短時間に又は気軽に運動・スポーツが実施できる環境づくり」や、「きっかけづくり」が重要であることが窺えます。

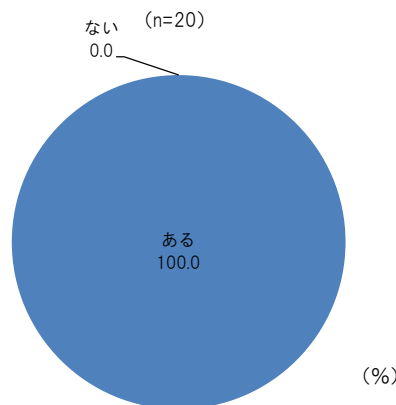
有効サンプル数が20件と少ないことから回答に偏りがみられます。



問3-2. 過去に運動・スポーツをしていた経験はありますか

「ある（100.0%）」のみとなっています。

有効サンプル数が20件と少ないことが関係しているとみられます。

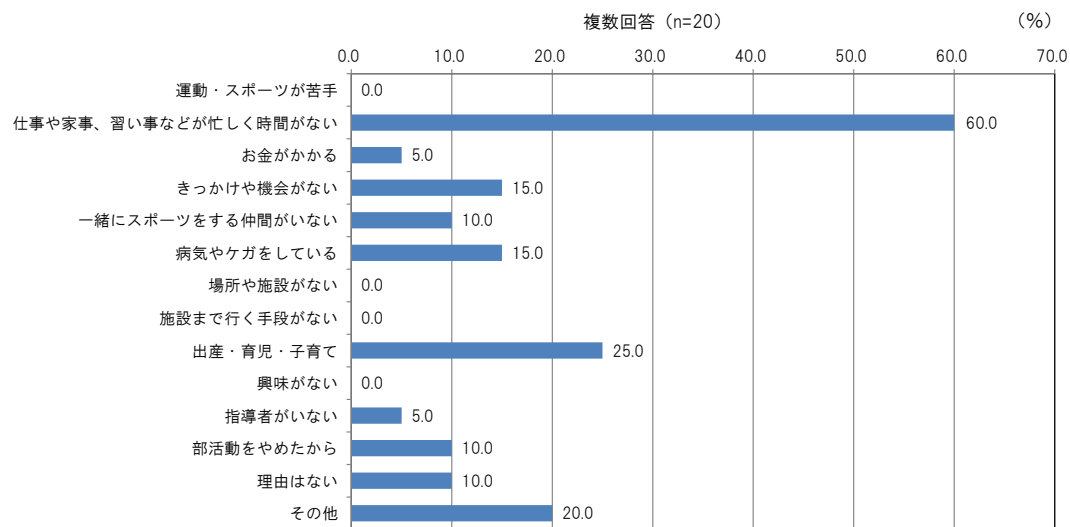


問3-3. 運動・スポーツをやめた理由を教えてください（複数回答可）

＜運動・スポーツをしていないと回答した人のうち、過去に運動・スポーツをしていた経験があると回答した人への設問＞

「仕事や家事、習い事などが忙しくて時間がない（60.0%）」が他よりも大幅に高く、「出産・育児・子育て（25.0%）」が次いで高くなっています。「その他（20.0%）」の内容では、「コロナ禍」や、「加齢」に関するものが複数みられました。

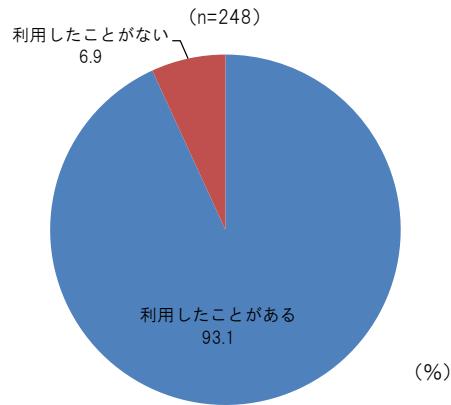
有効サンプル数が20件と少ないことから回答に偏りがみられます。



問4. 志摩市の公共スポーツ施設についてお聞きします（全ての方へ）

問4-1. 公共スポーツ施設の利用について

「利用したことがある（93.1%）」が全体の9割超となっています。
回答者の多くが市のスポーツ施設等の利用者であるためとみられます。



問4-2. 利用している施設について（利用頻度が高い上位3つまでお答えください）

<利用したことがある人への設問>

回答内容について、上位1～3位までの分を合わせて、回答数を集計したものを次頁に掲載しました。

施設によって、回答数の多いものと少ないもののバラツキがみられます。

施設	回答数	場所	回答数	うち、グラウンド夜間照明 (ナイター) 使用
浜島B&G海洋センター	26	体育館 (アリーナ)	2	
		プール	16	
		武道場	3	
		その他	1	
浜島ふるさと公園	4	グラウンド	0	0
		テニスコート	4	
志摩B&G海洋センター	14	体育館 (アリーナ)	7	
		プール	2	
		武道場	1	
		その他	0	
志摩総合スポーツ公園	2	グラウンド	2	
		テニスコート	0	
長沢野球場	1	グラウンド	1	0
長沢多目的広場	1	グラウンド	1	
賢島スポーツガーデン	24	テニスコート	24	
磯部ふれあい公園	14	体育館 (アリーナ)	2	
		グラウンド	5	0
		テニスコート	3	
		その他	4	
磯部プール	2	プール	2	
大王柔剣道場	0	道場	0	
大王相撲場	0	相撲場	0	
ともやま野球場	3	グラウンド	3	2
ともやま屋内運動場	2	体育館 (アリーナ)	2	
		その他	0	
ともやま公園テニスコート	2	テニスコート	2	
田神グラウンド	0	グラウンド	0	
阿児アリーナ	14	体育館 (アリーナ)	7	
		その他	0	
サンライフあご	243	プール	134	
		その他	82	
志摩パークゴルフ場	2	その他	2	
阿児ふるさと公園テニスコート	0	テニスコート	0	
阿児ふるさと公園多目的広場	3	グラウンド	2	0
		その他	1	
阿児の松原スポーツセンター	0	その他	0	
迫塩社会体育館	0	体育館 (アリーナ)	0	
船越社会体育館	0	体育館 (アリーナ)	0	
片田社会体育館	1	体育館 (アリーナ)	1	
甲賀社会体育館	0	体育館 (アリーナ)	0	
国府社会体育館	10	体育館 (アリーナ)	10	
国府社会体育広場	0	グラウンド	0	0
成基社会体育館	0	体育館 (アリーナ)	0	
浜島小学校	0	体育館 (アリーナ)	0	
大王小学校	0	体育館 (アリーナ)	0	
		グラウンド	0	
志摩小学校	0	体育館 (アリーナ)	0	
		グラウンド	0	
鵜方小学校	2	体育館 (アリーナ)	1	
		グラウンド	1	
神明小学校	3	体育館 (アリーナ)	1	
		グラウンド	1	0
東海小学校	2	体育館 (アリーナ)	2	
磯部小学校	0	体育館 (アリーナ)	0	
浜島中学校	0	体育館 (アリーナ)	0	
大王中学校	1	体育館 (アリーナ)	0	
		グラウンド	1	1
志摩中学校	1	体育館 (アリーナ)	0	
		グラウンド	0	0
文岡中学校	3	体育館 (アリーナ)	1	
東海中学校	1	体育館 (アリーナ)	1	
		グラウンド	0	0
磯部中学校	2	体育館 (アリーナ)	0	
		グラウンド	2	2

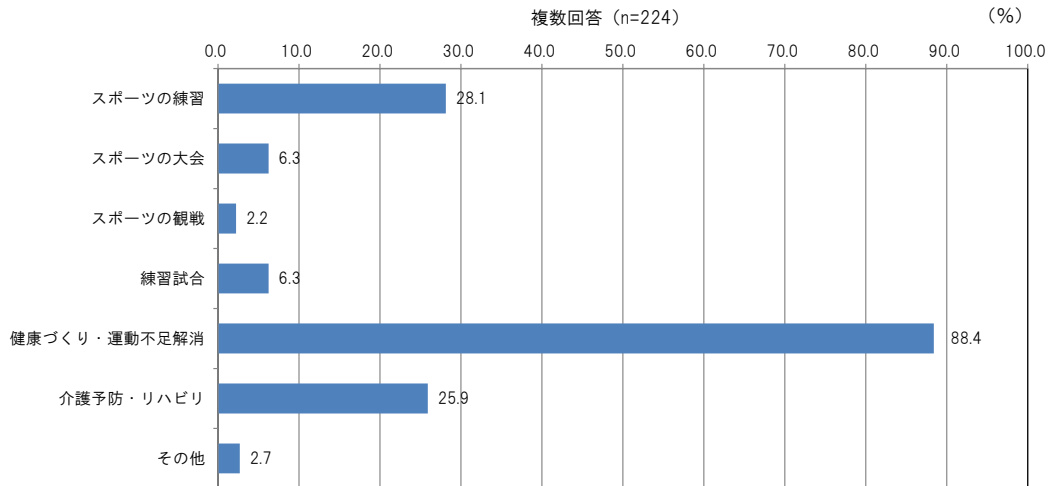
※各項目の無回答や誤入力と判断される回答は集計していません。よって、「場所」の合計が、「施設」の数値と一致しない場合があります。

※「場所」は、市の区分で、かつ調査時点で供用されているものを対象に集計しています。「その他」は、回答があった場合のみ表示しています。

問4-3. スポーツ施設を利用する目的について（複数回答可） <利用したことがある人への設問>

「健康づくり・運動不足解消（88.4%）」が他よりも大幅に高く、約9割となっています。回答者のうち、年齢の高い人の割合が高いためとみられます。

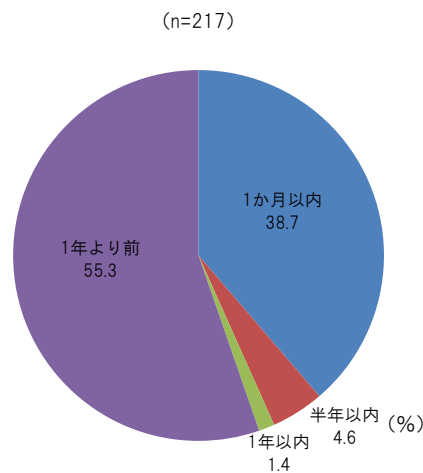
「その他（2.7%）」の内容では、「家族（子供など）との遊び」に関する回答がみられました。



問4-4. 施設の直近の利用状況について （選択した3つの施設のうち、最も利用頻度が高い施設） <利用したことがある人への設問>

「1年よりも前（55.3%）」が最も高くなっている一方で、「1か月以内（38.7%）」が約4割みられました。

利用したことがある人の利用頻度については、頻繁に利用する人と、あまり利用しない人の差が大きいことが窺えます。

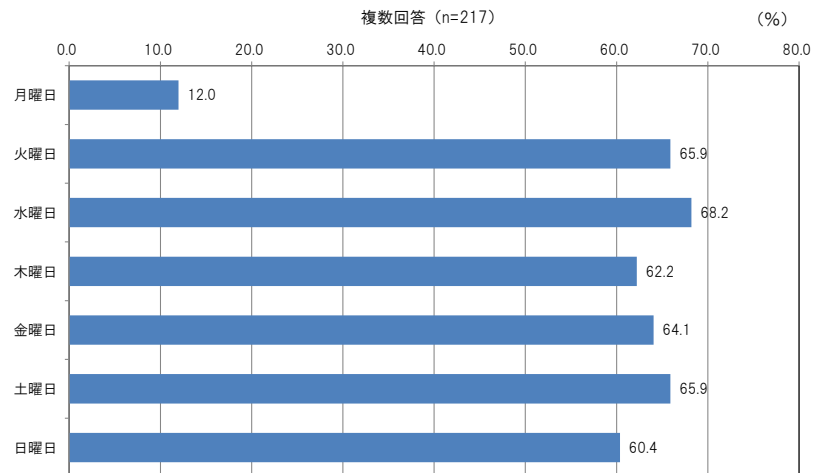


問4-5. 利用の曜日について（複数回答可）

＜利用したことがある人への設問＞

「火曜日」～「日曜日」については、大きな差がみられませんでした。回答者のうち、年齢の高い人の割合が高いためとみられます。

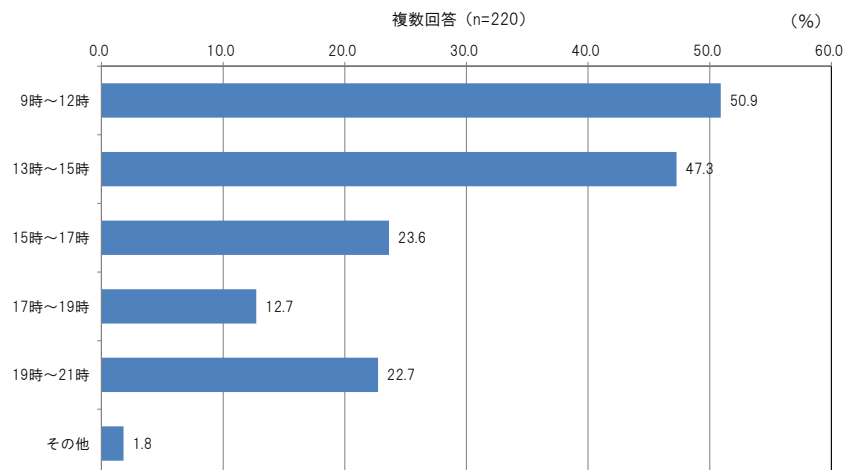
「月曜日（12.0%）」が最も低くなっているのは、月曜日が休館日となっている施設が多いためとみられます。



問4-6. 利用の時間帯について（複数回答可）

＜利用したことがある人への設問＞

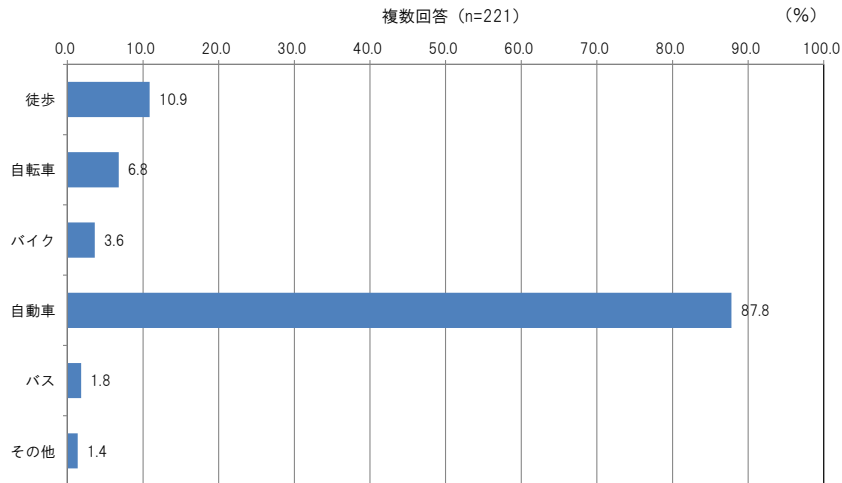
「9時～12時（50.9%）」が最も高く、「13時～15時（47.3%）」が次いで高くなっています。回答者のうち、年齢の高い人の割合が高いためとみられます。



問4-7. よく利用している施設までの移動手段について（複数回答可） <利用したことがある人への設問>

「自動車（87.8%）」が約9割と、他よりも大幅に高くなっています。「その他（1.4%）」の内容では、「家族の送迎」に関する回答が複数みられました。

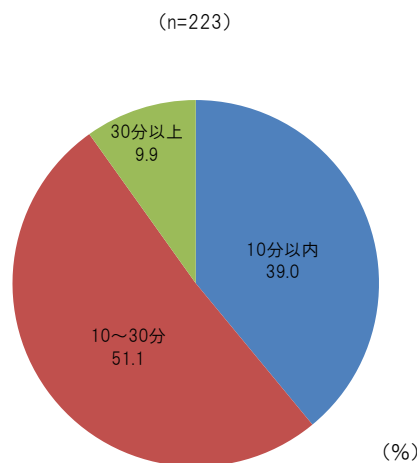
市の公共スポーツ施設等の利用者は、ほとんどが自動車で施設まで移動していることがわかります。



問4-8. よく利用している施設までの所要時間について <利用したことがある人への設問>

「10～30分（51.1%）」が約5割で最も高く、「10分以内（39.0%）」が次いで高くなっています。

自動車での利用が多いことを踏まえると、距離の面では、自宅から比較的離れたスポーツ施設も利用している人が多いことが窺えます。

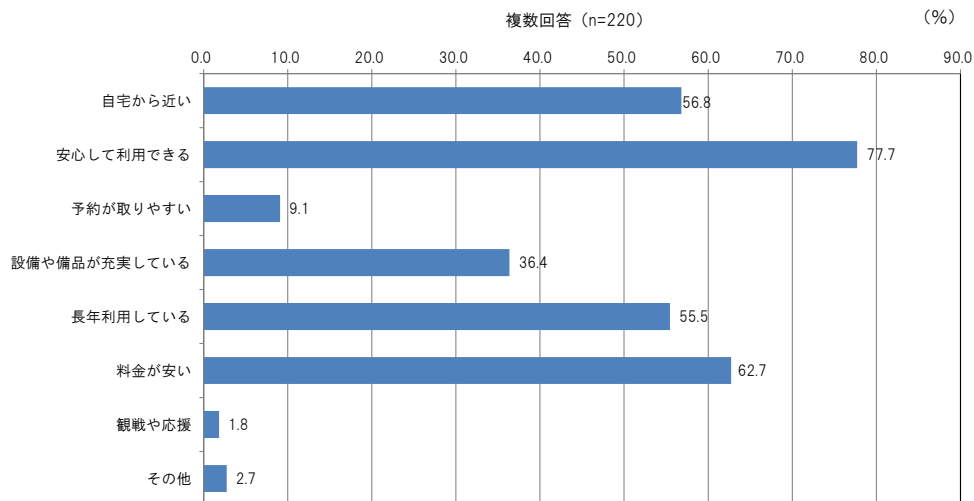


問4-9. スポーツ施設を利用する理由について（複数回答可）

<利用したことがある人への設問>

「安心して利用できる（77.7%）」が約8割と最も高く、「料金が安い（62.7%）」、「自宅から近い（56.8%）」「長年利用している（55.5%）」が次いで高くなっています。「その他」（2.7%）の内容では、「スタッフ・インストラクターの対応」に関する回答が複数みられました。

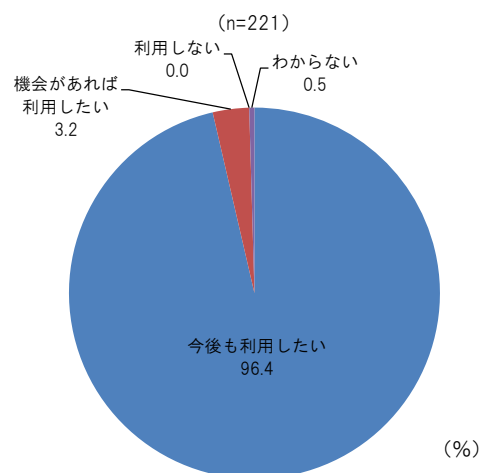
「安全な運動環境」や、「料金」、「自宅からのアクセス」、「通い慣れていること」で施設を選択している傾向があることが窺えます。



問4-10. 今後の利用希望について

<利用したことがある人への設問>

「今後も利用したい（96.4%）」がほとんどを占めています。今後の継続利用を希望する人が多いことが窺えます。

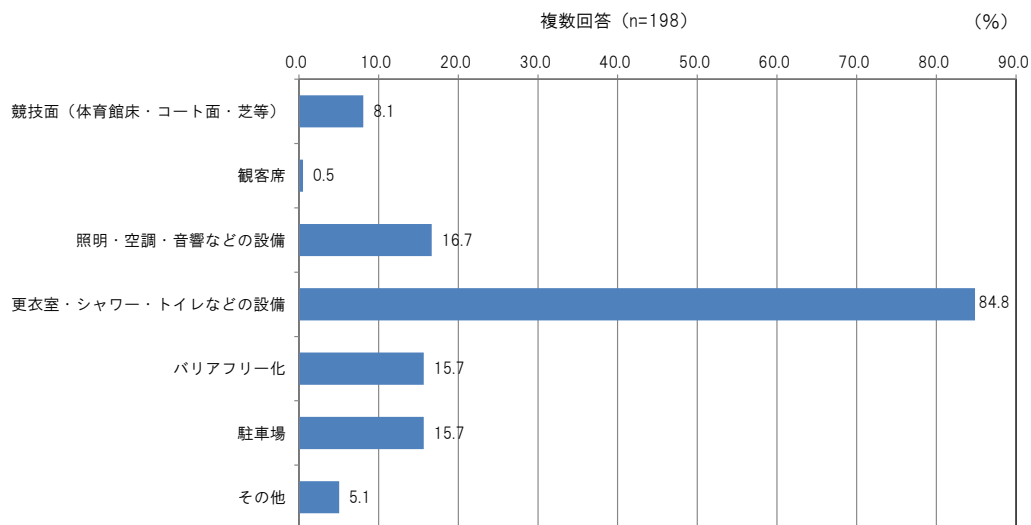


問4-11. あなたは、既存の公共スポーツ施設のどこを改修していくことが必要
 だと思いますか（3つまで選択してください）
 <利用したことがある人への設問>

「更衣室・シャワー・トイレなどの設備（84.8%）」が全体の約8割超で、他より大幅に高くなっています。

回答者のうち、「サンライフあご」利用者の占める割合が高いこと（「問4-2」参照）が関係しているとみられます。

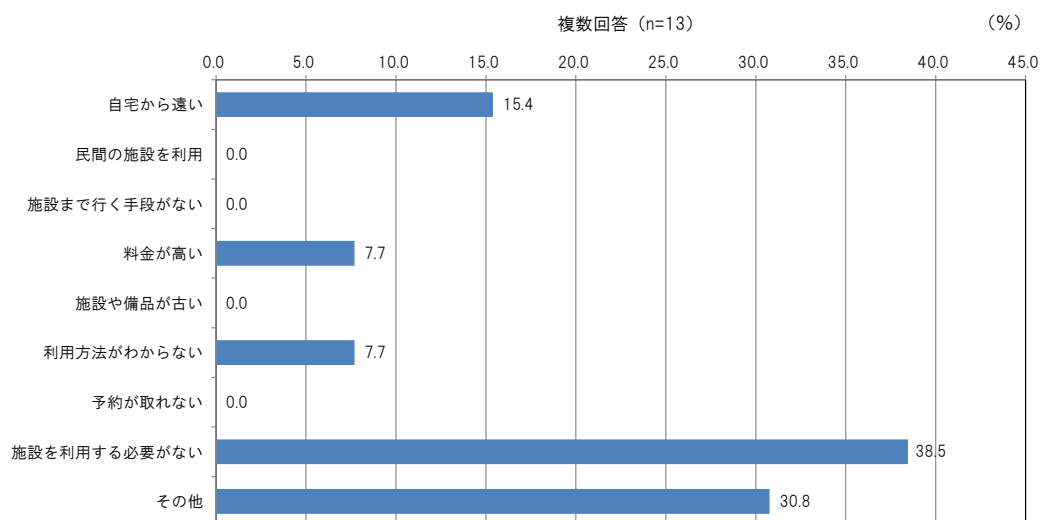
「その他（5.1%）」の内容では、「屋外施設のネット等」に関する回答がみられました。



問4-12. スポーツ施設を利用しない理由について（複数回答可）
 <利用したことがない人への設問>

「施設を利用する必要がない（38.5%）」が最も高くなっています。

有効サンプル数が13件と少ないことから回答に偏りがみられます。

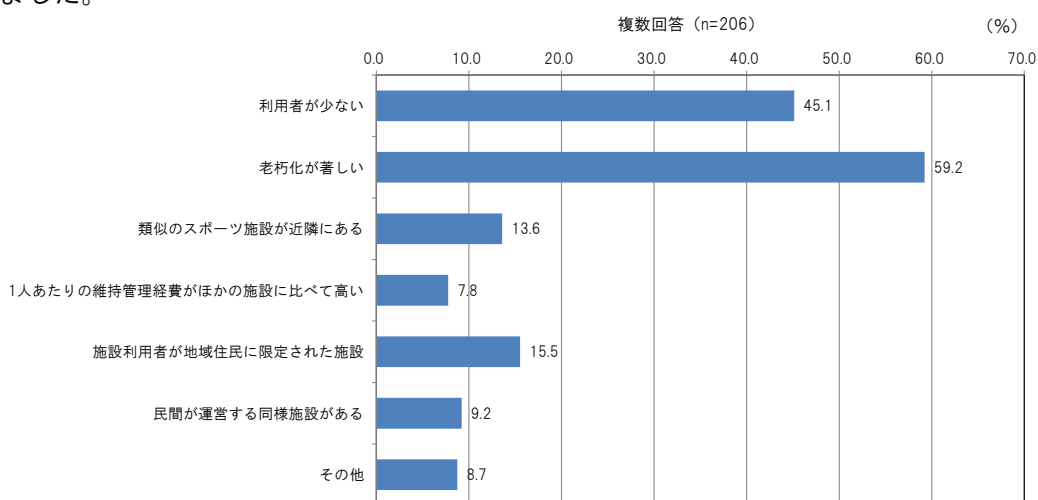


問5. これからの志摩市の公共スポーツ施設についてお聞きします（全ての方へ）

問5-1. 人口減少や少子高齢化が進み、今ある全てのスポーツ施設を適切に維持することが難しくなることが予想されます。今後、サービスを維持していくためには、どのような施設を見直すべきだと思いますか（3つまで選んでください）

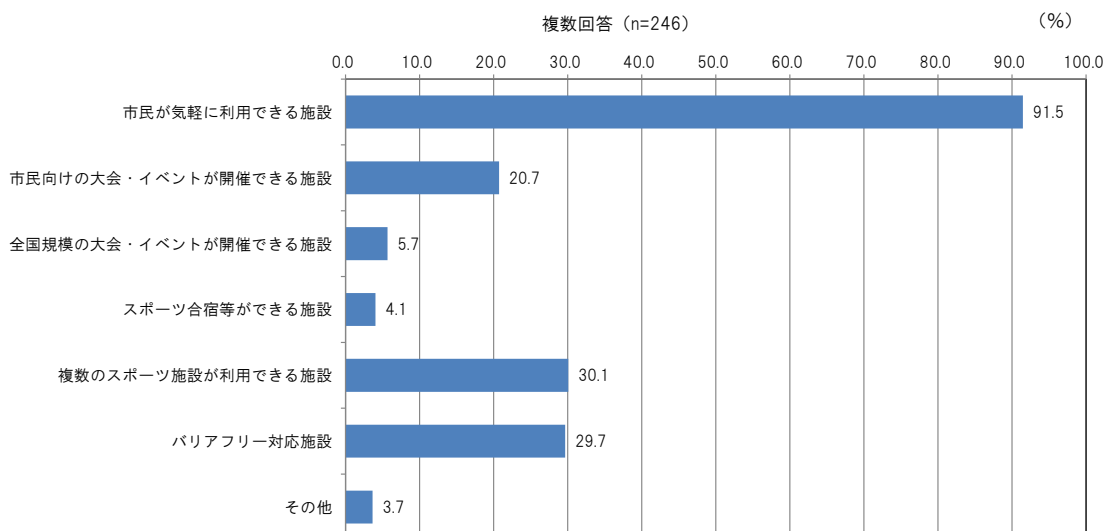
「老朽化が著しい（59.2%）」が最も高く、「利用者が少ない（45.1%）」が次いで高くなっています。

「その他（8.7%）」の内容では、「スポーツ施設の廃止は行うべきではない」との回答が複数みられました。



問5-2. 志摩市のスポーツ環境を整備・充実するために施設に必要な機能をどのように考えていきますか（3つまで選択してください）

「市民が気軽に利用できる施設（91.5%）」が、他よりも大幅に高く、約9割となっています。「その他（3.7%）」の内容では、「子ども・子育て世代向けの施設」、「健康増進向けの施設」との回答が複数みられました。

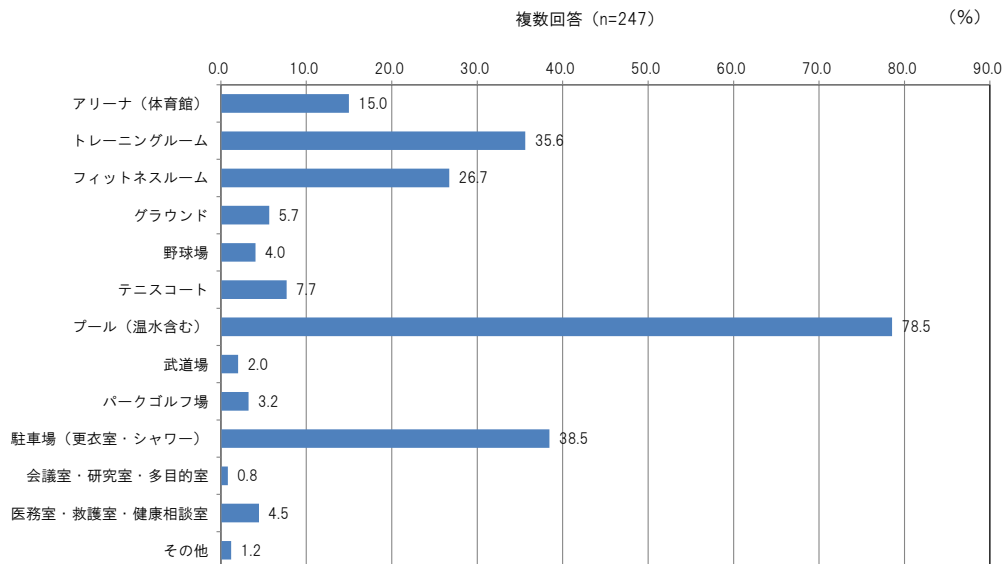


問5-3. これから充実させてほしいスポーツ施設の種類について（複数回答可）

「プール（温水含む）（78.5%）」が全体の約8割で、他よりも大幅に高く、「駐車場（更衣室・シャワー）（38.5%）」、「トレーニングルーム（35.6%）」が次いで高くなっています。

回答者のうち、「サンライフあご」利用者の占める割合が高いこと（「問4-2」参照）が関係しているとみられます。

「その他（1.2%）」の内容では、下記のものが見られました（主なものを記載）。



[その他の内容（主なもの）]

屋根付きテニスコート

問5-4. 今後の志摩市のスポーツ施設に対するご意見ご要望等ございましたらご自由にご記入ください

主な意見を下記のように掲載します。

1. 今後のスポーツ施設の整備の方向性に関する意見・要望

- ・スポーツ施設の利用状況を見ると減少傾向のところもあり、維持管理の困難さは、年々深刻化しているのではないかと。人口減少の合併市で抱える問題であり、これまで、施設の集約化・一体化を考えてこなかったことから生じた問題と考える。一方で、「サンライフあご」は、高齢者の健康への意識を高めてきた実績がある。これは関係者の取組の成果と考えている。志摩市の強みといえる施設であるため、プールの廃止をしないでほしい。また、市は、スポーツ施設の維持管理の方向性を明確に示してほしい。（女性・60代）
- ・類似施設が多くある。毎日利用されている施設がある一方で、ほとんど利用されていない施設もあり、差が大きい。利用が少ない施設の運営方法に問題があるのならば、市は、指摘し、改善させるべきであるし、また、必要な修繕をさせるべきである。（男性・40代）
- ・既存施設のさらなる利用活用方法を検討していくべき。また、体育館・グラウンド等で利用

<p>が少ない施設の統廃合を考える必要があると思う。(男性・70代)</p>
<p>・新たに大きな建物・広い土地の施設を造ると、多額の金が必要になり、また、後々の維持管理の問題の発生が考えられる。古くなった施設の維持・修繕については計算をした上で計画されているとは思いますが、使えるものは修繕して使う考えをもってほしい。(性別不明・70代)</p>
<p>2. 大会の場・スポーツ合宿の場に関する意見・要望</p>
<p>・大会、試合の際、駐車場が足りなくなる施設があるので改善してほしい。また、トイレのバリアフリー化を進めて、洋式トイレを増やしてほしい。(女性・50代)</p>
<p>3. 具体的な施設に関する意見・要望</p>
<p>・「賢島スポーツガーデン」の駐車場を広くしてほしい。洋式トイレを増やしてほしい。「ともやま公園テニスコート」の照明を直してほしい。(女性・50代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールの存続を強く希望する。高齢者の介護予防に役立ち、選手のトレーニングやリハビリにも活用されている。高齢化が進んでいく。健康に気を付けている方のためにも、腰痛や膝痛でリハビリされている方のためにも存続を希望する。(女性・40代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールは必要。この施設があるおかげで、健康を維持できている人達が大勢いる。市内には他にもプールがあるが、老人は他の施設に通うことは難しい。健康を維持できなくなり、志摩市の医療費もかさむことになりかねない。(女性・50代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールは、若い人から高齢者までが利用し、健康維持、介護予防、ストレス解消に役立っている。閉鎖には反対。各時間帯とも利用者が多い。一方、体育館やグラウンドは数が多い上に、利用率が低いのに運営を継続しているところがある。(男性・50代)</p>
<p>・プールでの運動は、体に負担なくできて健康維持に役立っている。「サンライフあご」のプールの運営を継続していただきたい。(女性・70代)</p>
<p>・プールは「健康維持の場」と「交流の場」の両面を果たしており、特に高齢者にとっては無くてはならない場所。少しでも長く健康でいられるよう、「サンライフあご」のプールの存続を切にお願いしたい。利用料金を改定することについても大賛成。(女性・60代)</p>
<p>・高齢者のためにも、子どもたちのためにも、「サンライフあご」のプールをなくさないでほしい。他にも節約すべきところはたくさんあると思う。(男性・70代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールは市民にとって必用不可欠な場所である。存続させてほしい。子ども達はプールをととても楽しみにしており、水泳を続けて習いたい子が沢山いる。外国の方との交流の場にもなっている。(女性・50代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールを存続させてほしい。子ども達のスイミングの機会を確保してほしい。(女性・40代)</p>
<p>・子どもに喘息があることから、「サンライフあご」のスイミングスクールを利用していた。子ども達のためにも、プールを残してほしい。(女性・40代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールを残してほしい。会費が少し高くなってても良い。(女性・60代)</p>
<p>・「サンライフあご」のプールは運営を継続してほしい。利用料金を、少々値上げしても続けてほしい。(女性・70代)</p>
<p>・施設から駐車場までが暗くて危険な施設があるので改善してほしい。(女性・30代)</p>